

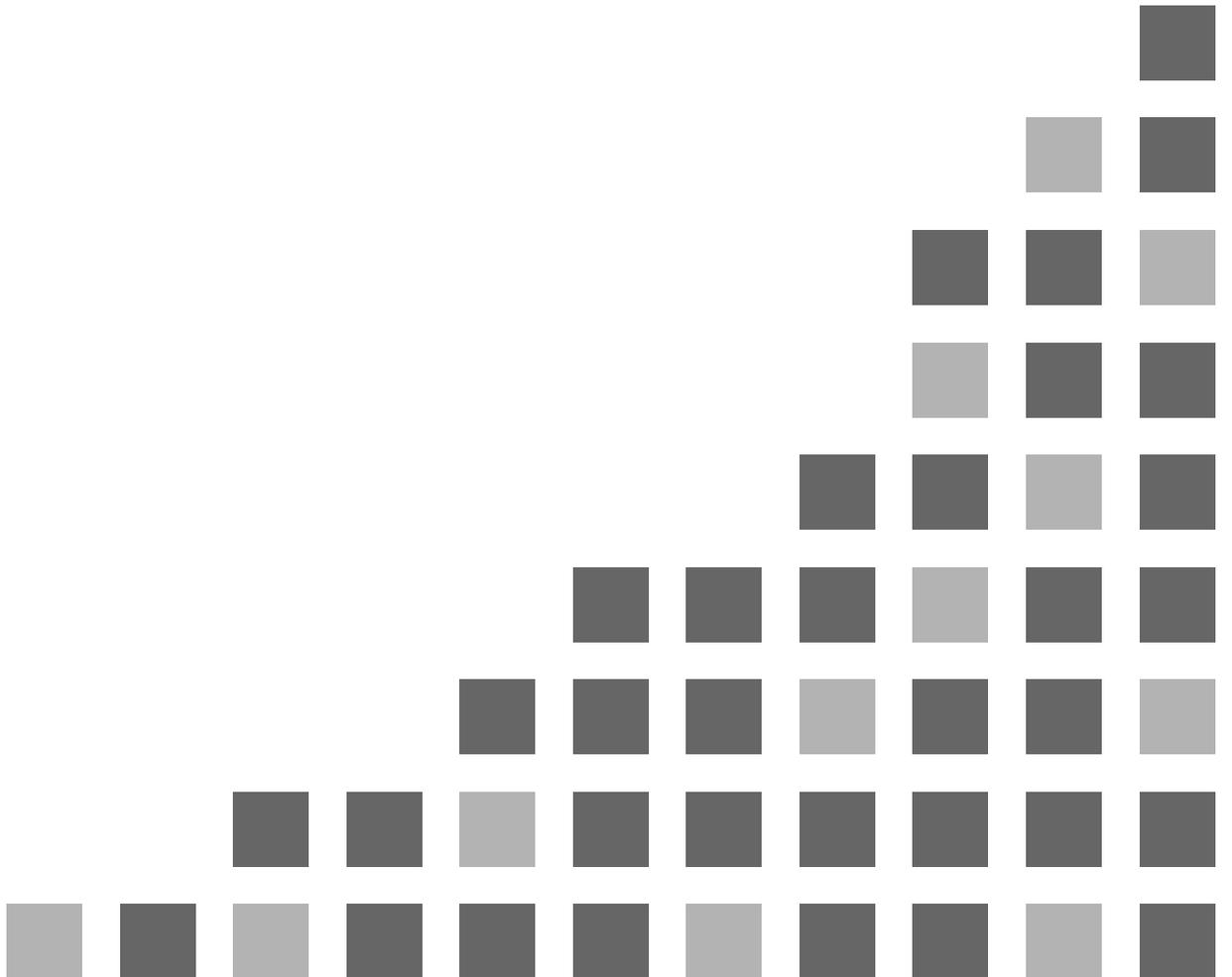
**Panasonic**<sup>®</sup>

# オペレーションマニュアル

P2 コンテンツマネージメントソフトウェア

(バージョン 1.2)

**P2HD**



# Contents

<b>P2 Contents Management Software Ver.1.2</b>	<b>1</b>
はじめに .....	1
動作環境 .....	2
ご使用上の注意 .....	3
使用許諾条件 .....	4
商標 .....	7
<b>セットアップ</b>	<b>8</b>
インストールされるコンポーネント .....	8
新規インストール .....	9
アンインストール .....	12
<b>使い方</b>	<b>13</b>
起動・終了 .....	13
P 2 素材の登録 .....	15
P 2 素材の検索 .....	19
P 2 素材の分類 .....	20
P 2 素材の再生 .....	21
P 2 素材の出力(エクスポート) .....	23
P 2 素材のバックアップ .....	26
P 2 素材のアーカイブ .....	29
P 2 素材のリストア .....	32
P 2 素材リストの印刷 .....	35
P 2 素材の簡易連続再生 .....	37
P 2 素材のロギング .....	39
P 2 メタデータの変更 .....	43
ファイルの添付 .....	45
<b>機能</b>	<b>48</b>
表示 .....	48
インジエスト (登録) .....	53
検索 .....	57
分類 .....	62
プロパティ .....	66
再生 .....	71
エクスポート .....	73
バックアップ .....	76
アーカイブ .....	79
リストア .....	82
P2 カード操作 .....	85
メタデータアップロード .....	87
印刷 .....	91

データベース.....	93
システム状態表示.....	99
バージョン表示.....	100
<b>設定</b> .....	<b>101</b>
各種設定.....	101
<b>付録</b> .....	<b>108</b>
こんなときには.....	108
光メディアドライブと接続するには.....	108
バックアップ、アーカイブメディアを選ぶには.....	109
データベースに登録できません.....	109
ノートパソコンで使用したい.....	109
素材を USB ハードディスクでバックアップしたい.....	109
素材を光メディアで他の人に渡したい.....	109
複数の素材に同じシナリオデータを登録したい.....	110
ノンリニア編集ソフトウェアと同じ PC にインストールして使用したい... ..	110
インジェスト/エクスポート/バックアップ/アーカイブ/リストアの 所要時間が長いと感じたら.....	110
バックアップ/アーカイブメディアのラベル名はどのように入力したら 良いか?.....	110
ClipID で検索すると不完全素材が表示される.....	111
結果レポートで表示される数が違う.....	111
インジェスト時のファイルコピーに失敗する.....	111
連続再生中に Proxy ボタンを押しても通常再生される.....	111
データベース異常で起動できなくなった.....	112
インストールで失敗する.....	112
アイコンビューで選択した場合に処理される順番はどうなりますか? .....	113
Windows セキュリティの重要な警告パネルが表示されたのですが? .....	114
エラーメッセージ.....	115
ToolTip.....	118
技術情報.....	119
データの操作.....	119
P2 素材の出力.....	120
光メディアの識別・管理.....	121
クリップ.....	122
保存形式.....	123
P2 カードフォーマット.....	124
P2CMS フォーマット.....	125
赤×クリップ.....	126
<b>グロサリ用語</b> .....	<b>127</b>

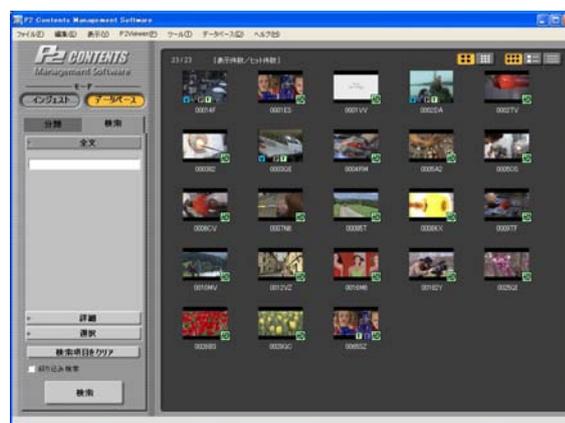
# P2 Contents Management Software Ver.1.2

## はじめに

P2 Contents Management Software は P2 フォーマットで作成されたクリップを Windows が搭載された PC で操作するためのアプリケーションプログラムです。洗練された GUI により P2 ファイルの機能をフルに活用することができます。

P2 による IT 化を容易にするために次の機能を実現します。

- 素材の一覧表示・印刷
- 素材のインジエスト
- 素材の検索・分類
- 素材の再生
- 素材のロギング
- 素材のエクスポート
- 素材のバックアップ
- 素材のリストア



---

## 動作環境

P2 Contents Management Software をご使用いただくには、以下のハードウェアとソフトウェアが必要です。

### ハードウェア

- CPU : Pentium4 1.5GHz 以上
- RAM : 512MB 以上
- ディスプレイがフルカラー (32 ビット)
- CD-ROM が読み込めるドライブ
- サウンド機能を搭載

※DVCPRO HD を再生する場合の推奨環境

- CPU : Pentium D 3.2GHz 以上
- RAM : 1GB 以上

※AVC-Intra を再生する場合の推奨環境

(AVC-Intra50 の場合)

- CPU : Core2 Duo 2.66GHz 以上
- RAM : DDR2-667 1GB 以上

(AVC-Intra100 の場合)

- CPU : デュアル CPU 構成のデュアルコア Xeon 3GHz 以上
- RAM : DDR2-667 1GB 以上

### ソフトウェア

- Windows XP Professional SP2

※AVC-Intra を再生する場合は、  
別途、デコーダをダウンロードする必要があります。

※Proxy を再生する場合は、  
別途、デコーダをダウンロードする必要があります。

---

## ご使用上の注意

- 本製品を再配布することを禁止します。また当社の許可なく、本製品や本製品を使用して作られたソフトウェアや、ハードウェアを販売することを禁止します。
- 本製品の使用または使用不能（本製品、およびパソコンの不具合を含む）から生じる一切の損失、損害に関して責任を負いません。たとえ、弊社が、そのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。
- 本製品、および本書のないように関しましては、事前に予告無しに変更することがあります。
- 本書では、オペレーティングシステムが Windows XP (Professional Edition) のときの操作例を使って説明しています。また、本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。
- リムーバブルメディアに出力（エクスポート／バックアップ／リストア）中に接続ケーブルを抜いたりしないでください。転送済みデータも消えてしまう可能性があります。
- インジエストやエクスポート等の作業ではファイルのコピーを行っております。コピーはオペレーティングシステムを経由して行っています。アプリケーションを終了させてもコピーによる書込みが完了したことにはなりません。
- 画面の DPI 設定を大きなサイズ（120DPI）に変更すると画面が正常に表示されません。
- パーソナルコンピュータの状況によっては、素材を再生する際に、画像がコマ落ちしたり、音声途切れるなどの現象が発生することがあります。
- PentiumM、Pentium4、Pentium D など、SSE2 命令をサポートしている CPU を搭載したパーソナルコンピュータ以外では、DVCPROHD フォーマットのクリップを再生することはできません。
- 表示エリアの表示する P2 素材最大数を変更できます。表示数が多くなるにしたがい、表示に要する時間が必要になります。使用方法、およびお使いの環境に適した設定を行ってください。

---

# 使用許諾条件

## 第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は弊社に帰属し、お客様に移転いたしません。

## 第2条（使用权）

1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用权をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用权とは、許諾ソフトウェアをお客様が使用するパーソナルコンピュータにダウンロードし、承諾ソフトウェアを必要とする個々の弊社製品（以下、本製品とします）を作動させるために使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写、並びに、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

## 第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. 各許諾ソフトウェアは、本製品における使用を条件に許諾されています。お客様は、許諾ソフトウェアの一部又はその構成部分を許諾ソフトウェアから分離して使用しないものとします。
3. 許諾ソフトウェアを用いて、弊社又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
4. お客様は、本契約に基づいて、本製品と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを譲受人が本契約の条項に同意することを条件に譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、電子文書及び本契約書を含みます）を譲渡しなければなりません。

## 第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社または、本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認められた原権利者（以下原権利者とします）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

## 第5条（責任の範囲）

1. 弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアが正常にダウンロード及びインストールできることを保証いたしません。また、弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアのダウンロード及びインストールによってお客様に損害が発生しないことを保証いたしません。
2. 弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。また、弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。
3. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス（第三者が提供する場合に限られず、弊社又は原権利者が提供する場合も含みます）は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来にわたって正常に稼動することを保証いたしません。
4. お客様に対する弊社及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害が弊社又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実に生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明する本製品の購入代金を上限とします。

## 第6条（著作権保護及びアップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約に従うものとします。
2. お客様は、（i）許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜にアップデートされること、（ii）当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び（iii）アップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約が適用されることに同意するものとします。なお、かかる場合、お客様は、別途弊社の定める任意の方法および期間に限り、アップデートされた許諾ソフトウェアを入手することができます。

### 第7条 (契約の解約)

1. 弊社は、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。
2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から 2週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、弊社に対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書を弊社に差し入れるものとします。
3. 本条1項の規定により本契約が終了した場合といえども、第4条、第5条、第7条第2項及び第3項並びに第8条第1項及び第3項乃至第5項の規定は有効に存続するものとします。

### 第8条 (その他)

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある条例、法律、輸出管理規制、命令に従うものとします。
3. 本契約に関連する一切の紛争については、弊社本店所在地の地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とする。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及び弊社は誠意をもって協議し、解決するものとします。

---

## 商標

- Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。Macintosh、Mac OS X は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、®マークは一部明記していません。
- 本書では、Microsoft®Windows®、Windows®2000、Windows®XP Professional、Windows®Vista Business を「Windows」、「Windows2000」または「Windows XP」または「Windows Vista」と表記します。
- 本書では、Macintosh®、Mac OS®X、PowerBook®を「Macintosh」、「Mac OS X」または「PowerBook」と表記します。

# セットアップ

---

## インストールされるコンポーネント

インストール先に下記パッケージがインストールされていない場合にはインストーラが検知します。パッケージがインストールできるサイトに接続しますので、必要な場合にはインターネットに接続可能な状況でインストールしてください。パッケージインストールをしなければ正常に動作することができませんのでご注意ください。

### 1. .NET Framework2.0 と対応言語パック

他ソフトウェアを使用する等の理由によって、.NET Framework 1.1 がインストールされている場合は、.NET Framework 1.1 のアンインストールを行っても行わなくても結構です。.NET Framework 1.1 と.NET Framework 2.0 は同じパソコンに共存することができます。

他のプログラムが .NET Framework 1.1 を使用していなくて、アンインストールしたい場合は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から「Microsoft .NET Framework 1.1 Hotfix」、「Microsoft .NET Framework 1.1 Japanese Language Pack」、「Microsoft .NET Framework 1.1」の順に削除してください。

### 2. Microsoft Data Access Components v2.8 SP1

### 3. Windows インストーラ 3.1 V2

Microsoft Windows 標準搭載のインストーラシステムです。Windows XPには Windows インストーラ 3.0 が標準搭載されているのでアップデートされます。

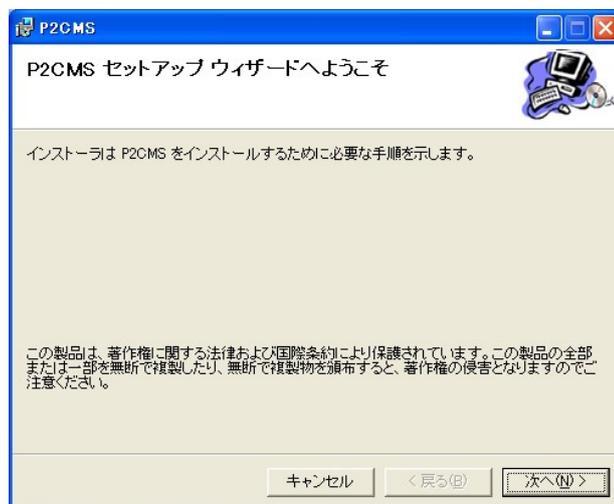
---

## 新規インストール

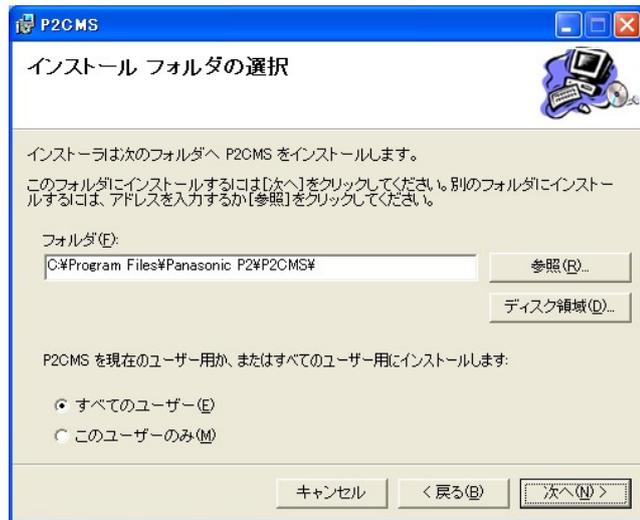
1. Setup.exe をクリックするとインストーラの準備中画面が表示されます。



2. セットアップを開始する画面が表示されますので「次へ」をクリックします。



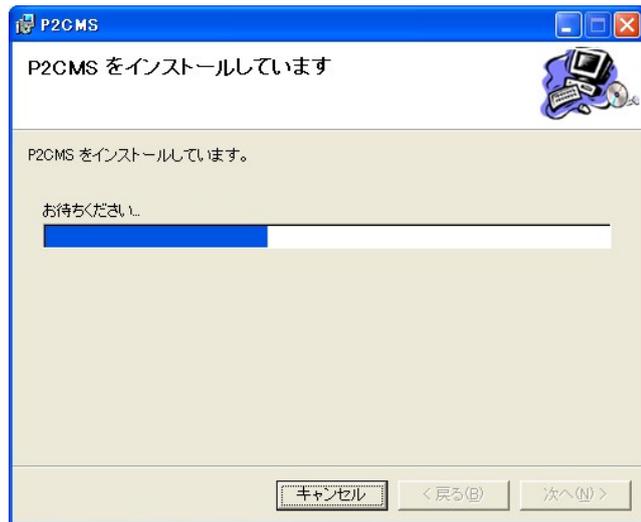
3. 使用するユーザーとインストールフォルダを選択して「次へ」をクリックします。



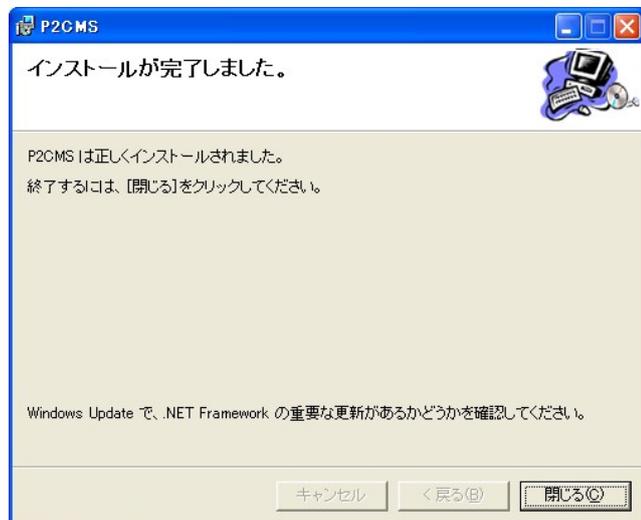
4. 確認画面で「次へ」をクリックします。



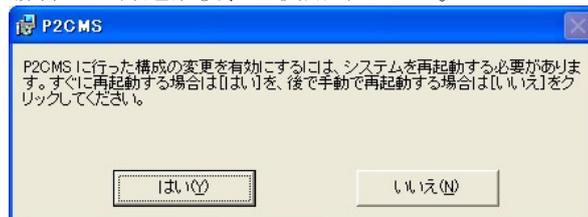
5. インストール状況が表示されます。



6. インストール完了するとダイアログを閉じてください。

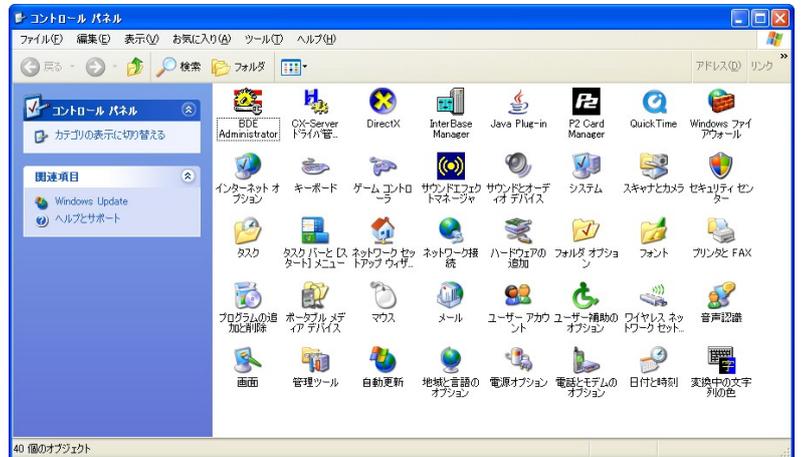


- 環境によっては再起動を要求される可能性があります。その場合には再起動後、ご使用ください。

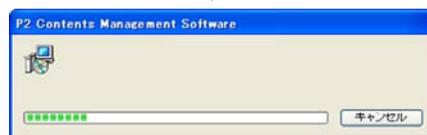


# アンインストール

1. Windows のコントロールパネルからプログラムの追加と削除を選択します。



2. 現在インストールされているプログラムから **P2 Contents Management Software** の削除ボタンをクリックするとセットアップウィザードが立ち上がります。ここで完了をクリックするとアンインストールされます。



- 本アプリケーションは P2 ビューアーのリソースを使用しております。本アプリケーションをアンインストールすると既にインストールしている P2 ビューアーが正常に起動しなくなりますので、P2 ビューアーを再インストールしてください。  
本アプリケーションがインストールされている状態で P2 ビューアーをアンインストールすると本アプリケーションの初回起動時にインストールが起動します。

# 使い方

## 起動・終了

### 1. 起動方法

Windows のメニューから [スタート] → [プログラム] → [Panasonic P2] → [P2 Contents Management Software] をクリックすると起動します。

初期起動時には管理する P2 素材のデータベースが作成されていないのでデータベースの作成を促します。



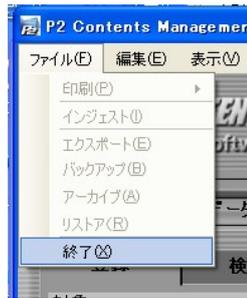
データベース名を入力して OK をクリックするとデータベースを作成してアプリケーションが立ち上がります。

キャンセルをクリックすると元のダイアログに戻ります。

2回目以降の起動時には上記ダイアログは表示されません。

※P2 ビューアーをアンインストールした直後に本アプリケーションを起動するとインストーラが起動します。

## 2. 終了方法

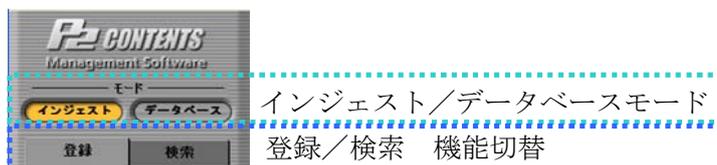


アプリケーション実行中にメインメニューから [ファイル] → [終了]をクリックすると終了します。(右上の×ボタンでも同様です)

## P 2 素材の登録

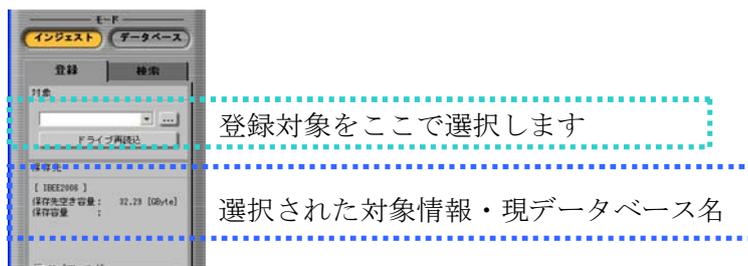
### 1. インジェストモードの登録タブを選択します。

「インジェスト」ボタンをクリックすると「インジェスト」ボタンが選択状態になり、「データベース」ボタンが非選択状態になります。



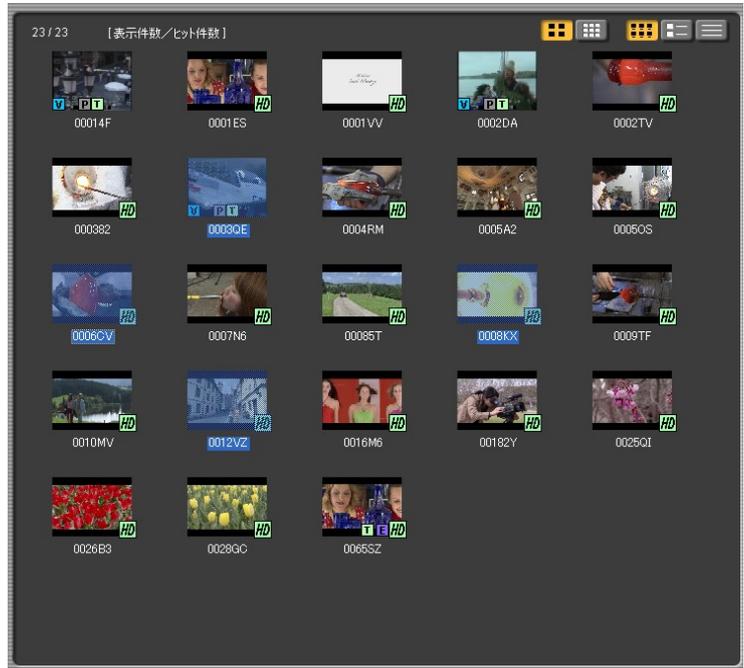
### 2. 登録対象の P2 データが格納されている場所を指定します。

対象選択コンボボックスから登録したい素材が格納されているドライブを選択します。もしネットワーク共有フォルダ等を選択したい場合にはコンボボックス右側に配置されている「ドライブ参照」ボタンをクリックすることができます。本製品起動後に登録対象機器（USB ハードディスク等）を接続した場合には「ドライブ再読み込み」ボタンをクリックすることでハードウェア接続状況を更新できます。



### 3. 登録する素材を選択します。

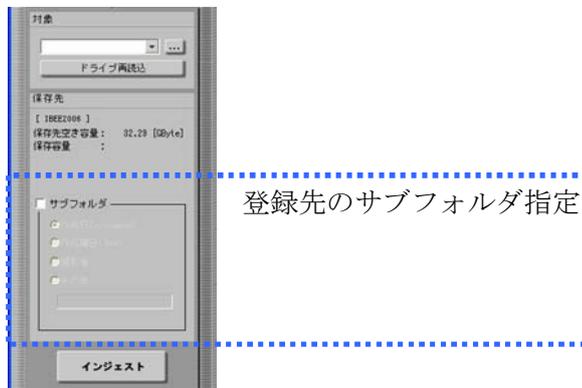
右側の素材リストを選択することにより登録する素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは **Ctrl+A**（全選択）、**Ctrl+クリック**（指定選択）、**Shift+クリック**（範囲選択）です。



※ 素材の選択後、素材に必要な容量を計算しています。計算が終了するまでインGESTボタンは有効になりません。

### 4. 登録先のサブフォルダを指定できます。

P2 データの格納フォルダ名を管理したい場合に設定します。



5. インジェスト実行ボタンをクリックします。

P2 素材の登録処理が開始されます。



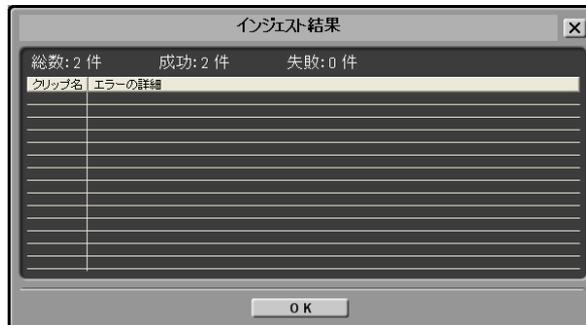
6. プログレスバーが進捗表示をします。

P2 素材の登録処理の進捗がプログレスバーで表示します。



7. 完了時に結果表示をします。

登録された P2 素材の総数、成功数、失敗数の表示と失敗の CLIP 名と失敗原因表示がダイアログで表示されます。



注) またぎクリップをインジェストするとまたぎクリップ数を表示します。通常のクリップと合算する場合はその合算数を表示します。

8. インジエストされたコンテンツはリスト表示色を変更します。

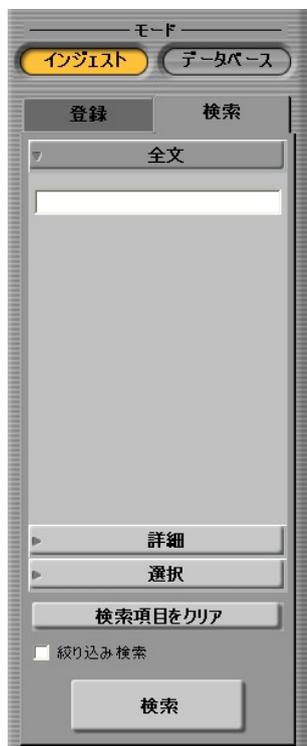


	000382	nagahama 3
	0003QE	DV420 proxy768K sar
	0004RM	nagahama 4

## P 2 素材の検索

### 1. 検索タブを選択します。

検索タブを選択すると3種類の検索をすることができます。



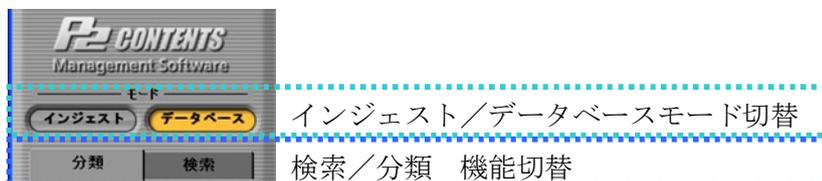
- 全文検索  
P2 メタデータの全項目を検索することができます。
- 詳細検索  
主な P2 メタデータを指定して検索することができます。
- 選択検索  
P2 メタデータを 4 項目選択して検索することができます。

注) またぎクリップの一部を検索すると欠損クリップとして表示されます。

## P 2 素材の分類

### 1. データベースモードの分類を選択します。

分類タブを選択すると指定したメタデータ分類で絞り込むことができます。



### 2. 分類項目で絞り込みたい項目にチェックをします。

チェックされた項目にマッチする素材に絞り込みます。

## P 2 素材の再生

### 1. ビューアーを起動します。

任意のクリップを選択し、右クリックメニューから [P2 ビューアーで再生する(P)] もしくは、メインメニューの [P2 ビューアー (P)] → [P2 ビューアーで再生する (P) Ctrl+P] を選択します



P2 ビューアーで、選択したクリップの映像が再生されます。複数のクリップを選択した場合は、選択した全ての映像が順番に再生されます（最大100クリップ）

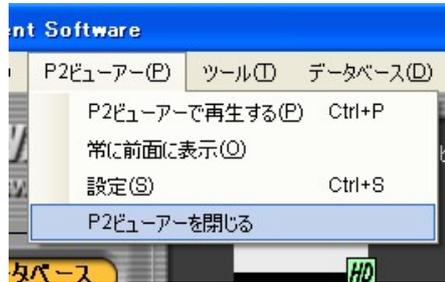
### 2. ビューアーが表示されます。

P2 素材の再生やロギングをすることができます。



### 3. ビューアーを閉じます。

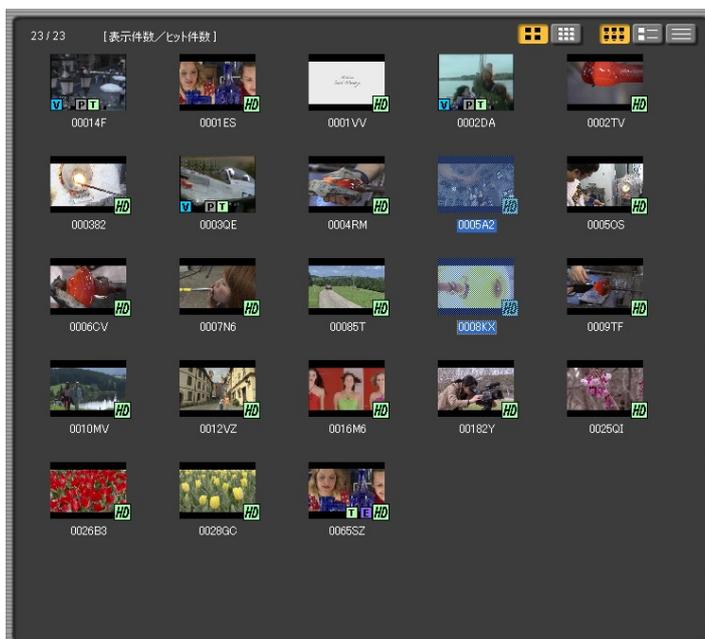
メインメニューの[P2 ビューアー (P)] → [P2 ビューアーを閉じる]を選択すると、ビューアーを終了します。



## P 2 素材の出力(エクスポート)

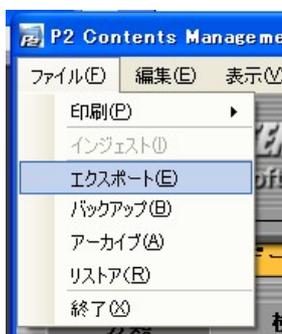
### 1. 出力する素材を選択します。

右側の素材リストを選択することにより出力する素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは **Ctrl+A** (全選択)、**Ctrl+クリック** (指定選択)、**Shift+クリック** (範囲選択) です。

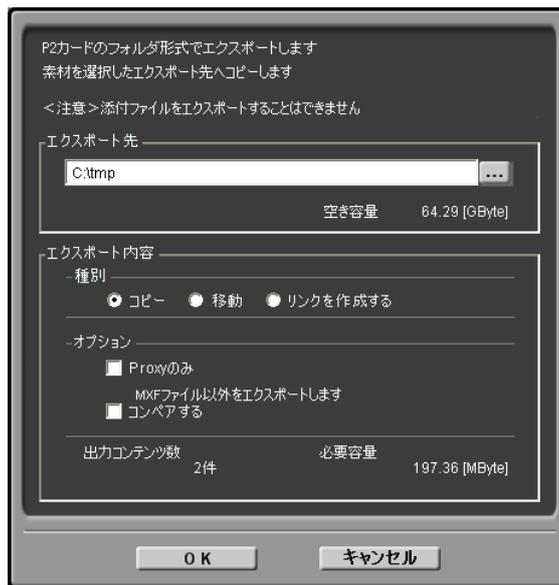


### 2. メニューからエクスポートを選択します。

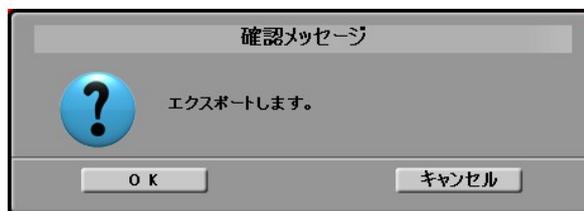
リスト表示部で右クリック、もしくはウィンドウのメニューからエクスポートを選択するとエクスポート画面が表示されます。



- 出力先や出力する設定をしてOKをクリックします。



- エクスポートを実行の確認メッセージを表示します。

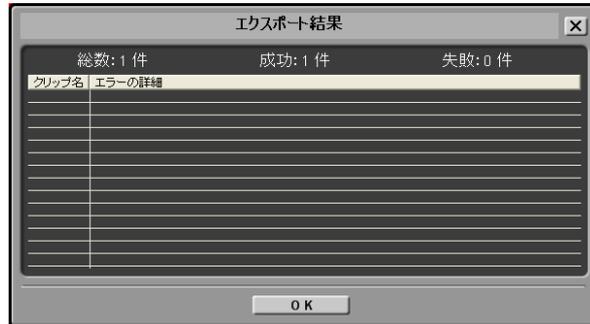


- エクスポートを実行してプログレスバーが進捗表示をします。  
P2 素材の出力処理の進捗がプログレスバーで表示されます。



6. 完了時に結果表示をします。

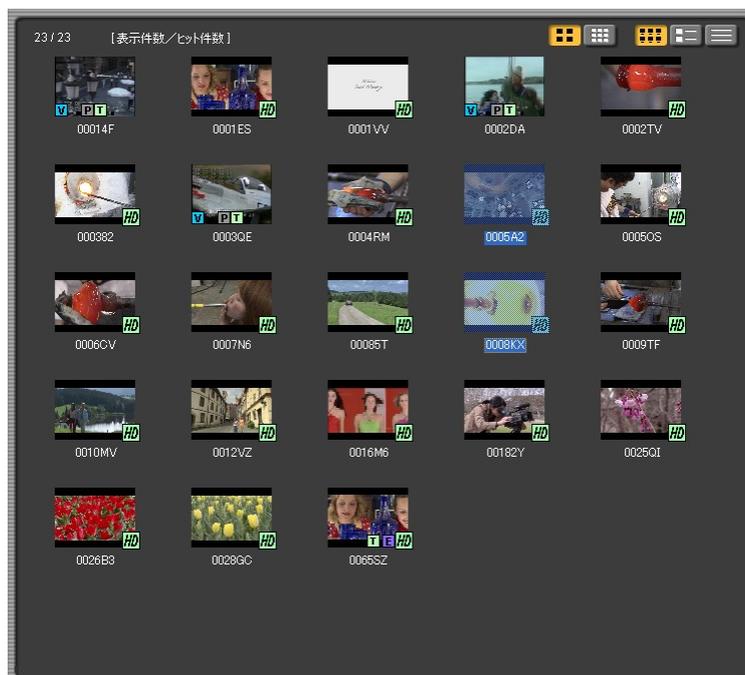
出力された P2 素材の総数、成功数、失敗数の表示と失敗の CLIP 名と失敗原因表示がダイアログで表示されます。



## P 2 素材のバックアップ

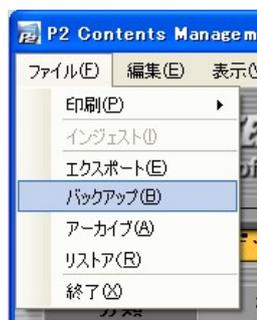
### 1. バックアップする素材を選択します。

右側の素材リストを選択することによりバックアップする素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは Ctrl+A（全選択）、Ctrl+クリック（指定選択）、Shift+クリック（範囲選択）です。

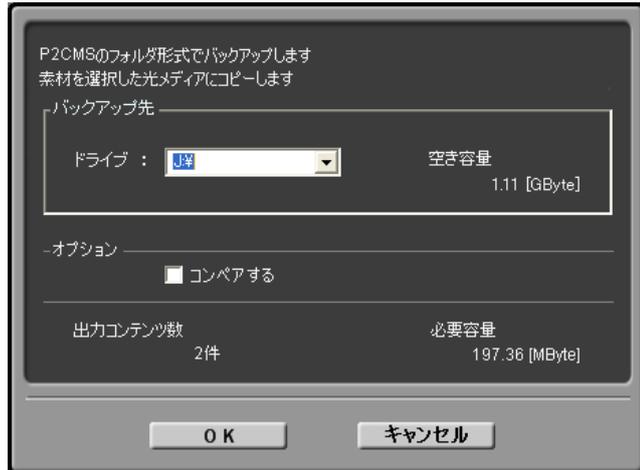


### 2. メニューからバックアップを選択します。

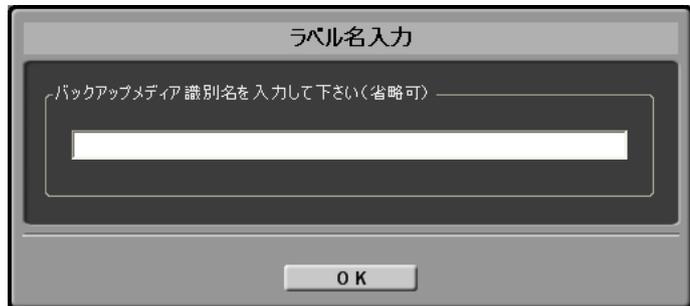
リスト表示部で右クリック、もしくはウィンドウのメニューからバックアップを選択するとバックアップ画面が表示されます。



3. バックアップ先やバックアップ設定をして実行します。



4. バックアップで使用するメディアラベルを入力できます。



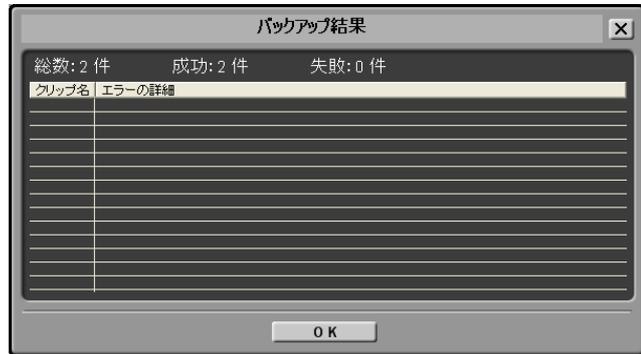
5. バックアップを実行してプログレスバーが進捗表示をします。

P2 素材のバックアップ処理の進捗がプログレスバーで表示されます。



6. 完了時に結果表示をします。

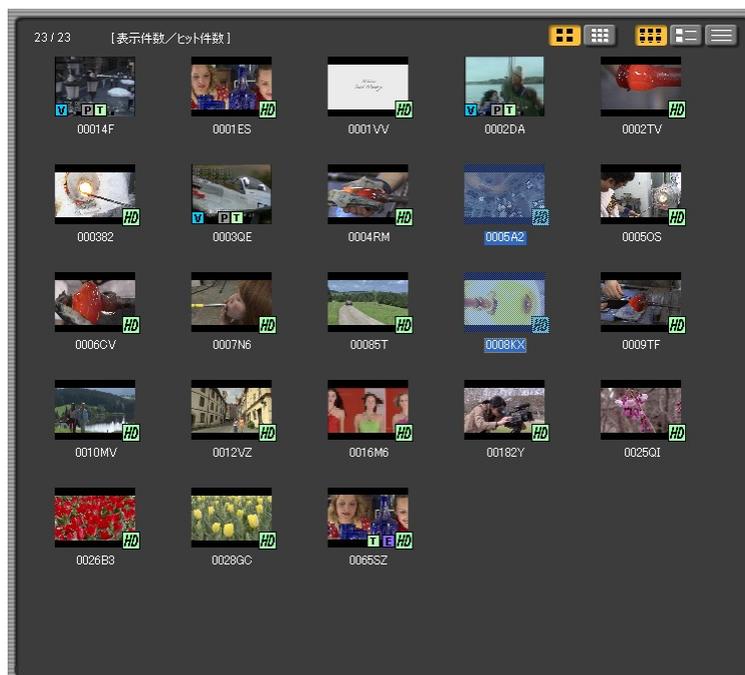
バックアップされた P2 素材の総数、成功数、失敗数の表示と失敗の CLIP 名と失敗原因表示がダイアログで表示されます。



## P 2 素材のアーカイブ

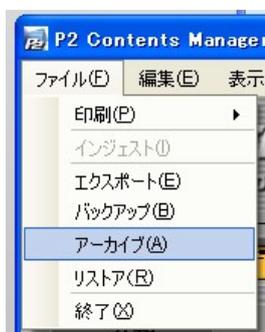
### 1. アーカイブする素材を選択します。

右側の素材リストを選択することによりアーカイブする素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは **Ctrl+A** (全選択)、**Ctrl+クリック** (指定選択)、**Shift+クリック** (範囲選択) です。

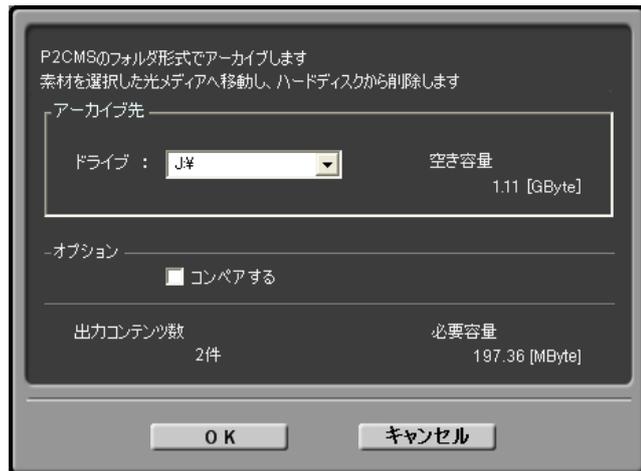


### 2. メニューからアーカイブを選択します。

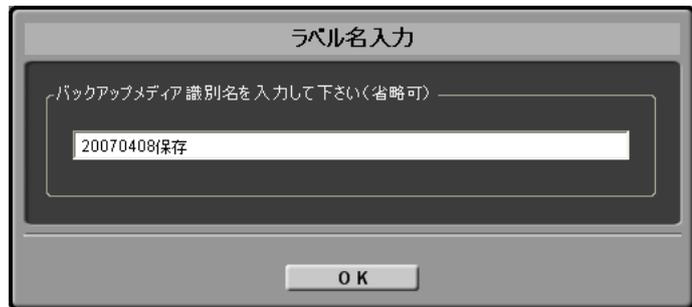
リスト表示部で右クリック、もしくはウィンドウのメニューからアーカイブを選択するとアーカイブ画面が表示されます。



3. アーカイブ先やアーカイブ設定をして実行します。



4. アーカイブで使用するメディアのラベル名を入力できます。  
メディアを管理する為に一意でわかりやすい名称を入力することを推奨します。表示されている場合には変更しないでください。(変更は可能ですが、メディア管理できなくなります)

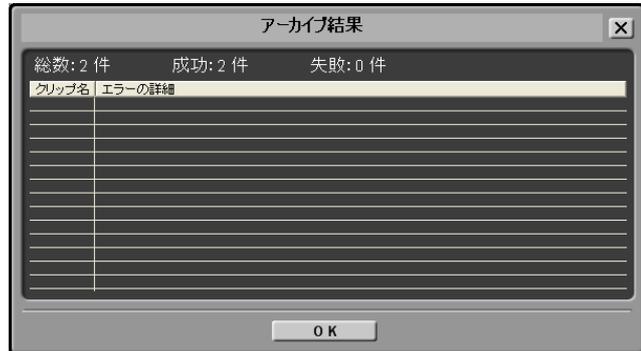


5. アーカイブを実行してプログレスバーが進捗表示をします。  
P2素材のバックアップ処理の進捗がプログレスバーで表示されます。



6. 完了時に結果表示をします。

アーカイブされた P2 素材の総数、成功数、失敗数の表示と失敗の CLIP 名と失敗原因表示がダイアログで表示されます。



7. アーカイブされた素材はオフライン表示されます。

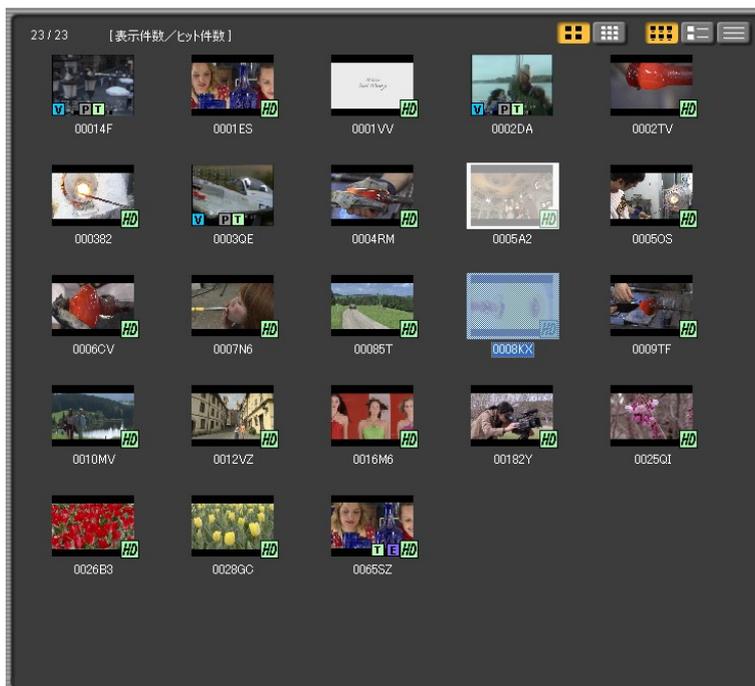
アーカイブされた P2 素材はオフライン状態である (HDD から削除されている) ため網掛け表示されます。



## P 2 素材のリストア

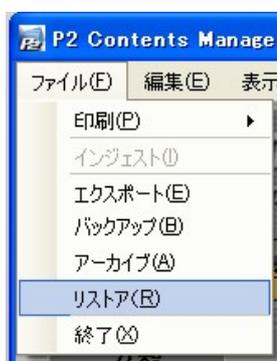
### 1. リストアする素材を選択します。

右側の素材リストを選択することによりリストアする素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは **Ctrl+A** (全選択)、**Ctrl+クリック** (指定選択)、**Shift+クリック** (範囲選択) です。



### 2. メニューからリストアを選択します。

リスト表示部で右クリック、もしくはウィンドウのメニューからリストアを選択するとリストア画面が表示されます。



3. リストア元やリストア設定をして実行します。

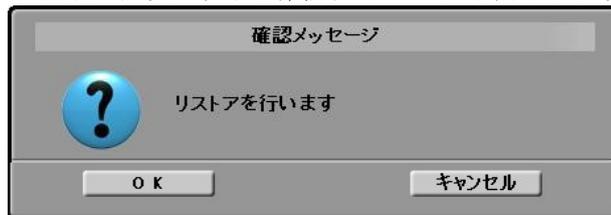
選択したコンテンツがリストア対象外の場合には下記ダイアログが表示されます。



リストア対象コンテンツがある場合には下記設定ダイアログが表示されます。



OKをクリックすると確認ダイアログを表示します。



4. リストアを実行してプログレスバーが進捗表示をします。

P2 素材のリストア処理の進捗がプログレスバーで表示されます。

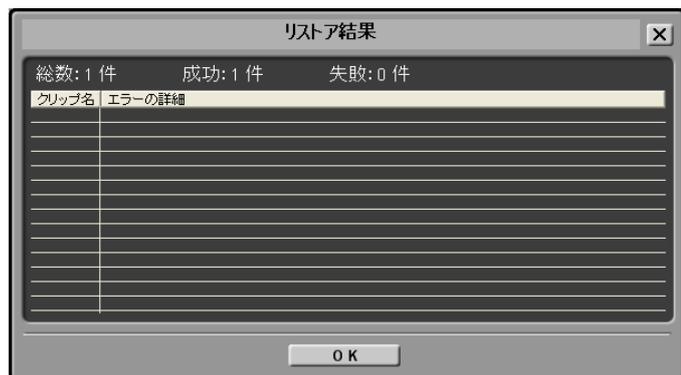


もし複数枚にわたる場合には下記ダイアログが表示され継続  
できます。



5. 完了時に結果表示をします。

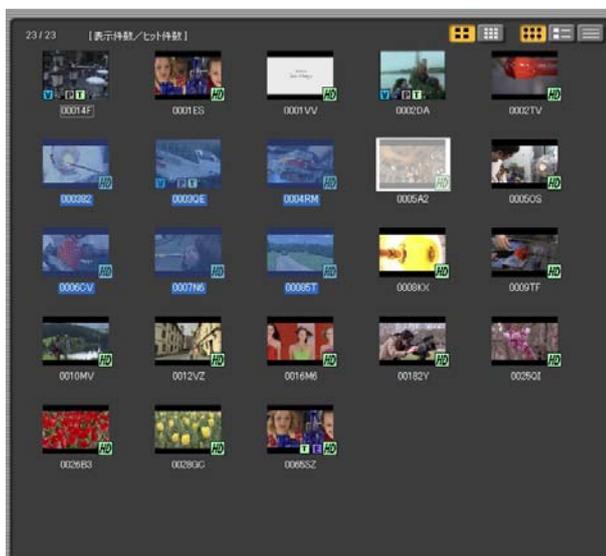
リストアされた P2 素材の総数、成功数、失敗数の表示と失敗の CLIP 名と失敗原因表示がダイアログで表示されます。



## P 2 素材リストの印刷

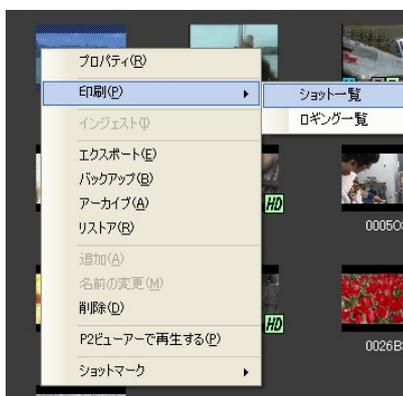
### 1. 一覧印刷する素材を選択します。

右側の素材リストを選択することにより一覧印刷する素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは **Ctrl+A** (全選択)、**Ctrl+クリック** (指定選択)、**Shift+クリック** (範囲選択) です。



### 2. メニューからショット一覧を選択します。

リスト表示部で右クリックから [印刷 (P)] → [ショット一覧]、もしくはメインメニューの [ファイル(F)] → [印刷 (P)] → [ショット一覧 C] を選択します。



- 印刷画面が開きます。

サムネイル	クリップ名	撮影日	スタートTC	チャレージョン	備考
	00085T	2006/07/05	00:00:37.23	00:00:08.15	
	0002DA	2005/04/27	00:00:00:00	00:00:15.13	
	00090E	2005/04/27	00:00:00:00	00:00:15.10	
	000282	2005/11/09	00:00:19.09	00:00:10.20	
	0004RM	2005/11/09	00:00:30.00	00:00:13.28	

- 表示帳票の **Export/印刷** を上部アイコンから行うことができます。

## P 2 素材の簡易連続再生

連続再生はP 2 素材を順番にロードして連続で再生します。

### 1. 連続再生するクリップの再生順を指定します。

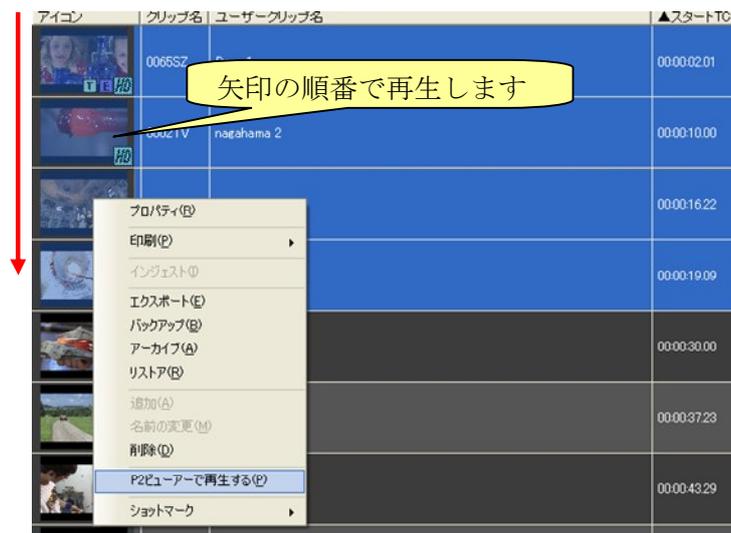
再生する順序でソートします。

次の例ではタイムコードで昇順にソートしています。

▲スタートTC	クリップ名
00:00:02.01	De
00:00:10.00	ne
00:00:16.22	De
00:00:19.09	ne
00:00:30.00	ne

### 2. 連続再生するクリップを選択します。

複数のクリップを選択し、右クリックメニューから [P2 ビューアーで再生する(P)] もしくは、メインメニューの [P2 ビューアー(P)] → [P2 ビューアーで再生する (P) Ctl+P] を選択します



P2 ビューアーで、選択したクリップの映像がリスト表示順に再生されます。

3. ビューアーが起動後、再生します。



- アイコン表示連続再生指定した場合には次の順番で連続に再生します。



## P 2 素材のロギング

### 1. ビューアーを起動します。

任意のクリップを選択し、右クリックメニューから [P2 ビューアーで再生する(P)] もしくは、メインメニューの [P2 ビューアー (P)] → [P2 ビューアーで再生する (P) Ctrl+P] を選択します



P2 ビューアーで、選択したクリップの映像が再生されます。  
複数のクリップを選択した場合は、選択した全ての映像が順番に再生されます

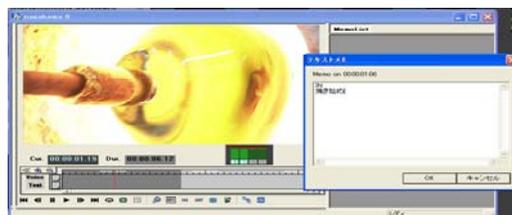
### 2. ビューアーが起動後、再生します。



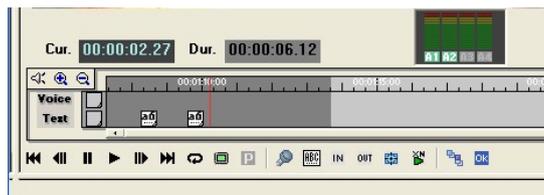
3. ログイン IN 点で再生画面下の IN ボタンをクリックすると IN 点が登録されます。

再生中に IN ボタンをクリックしても再生は停止しません。  
テキストメモ入力後 OK ボタンでログイン IN を登録できます。

入力時に停止させたい場合にはメモテキストボタンを使用してください。



4. ログイン OUT 点で再生画面下の OUT ボタンをクリックするとログイン OUT 点を登録できます。

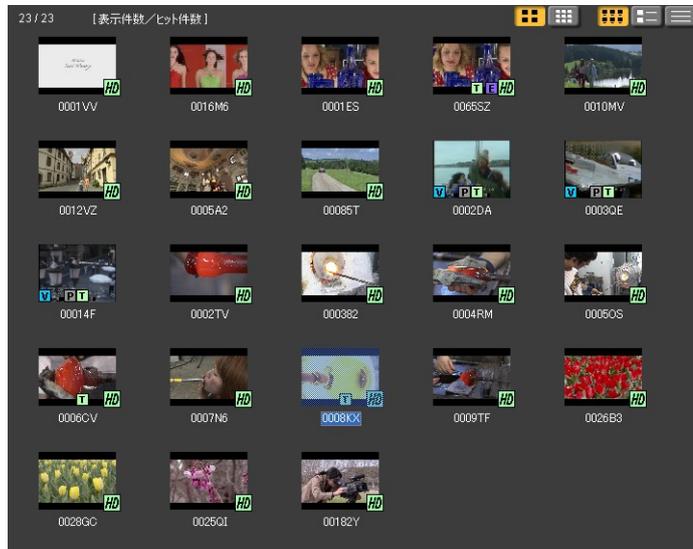


5. ログイン IN/OUT やテキストメモやボイスメモで登録されたイベントはビューアー右側のリストに表示されますので、確認することができます。



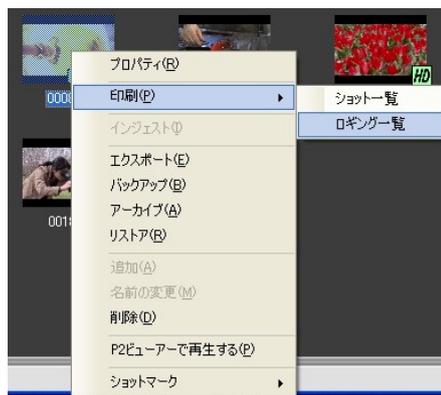
## 6. ログイン一覧印刷する素材を選択します。

右側の素材リストを選択することによりログイン一覧印刷する素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは Ctrl+A (全選択)、Ctrl+クリック (指定選択)、Shift+クリック (範囲選択) です。



## 7. メニューからログイン一覧を選択します。

リスト表示部で右クリックから[印刷 (P)] → [ログイン一覧]、もしくはメインメニューの[ファイル(F)] → [印刷 (P)] → [ログイン一覧 L]を選択します。



- 印刷画面が開きます。

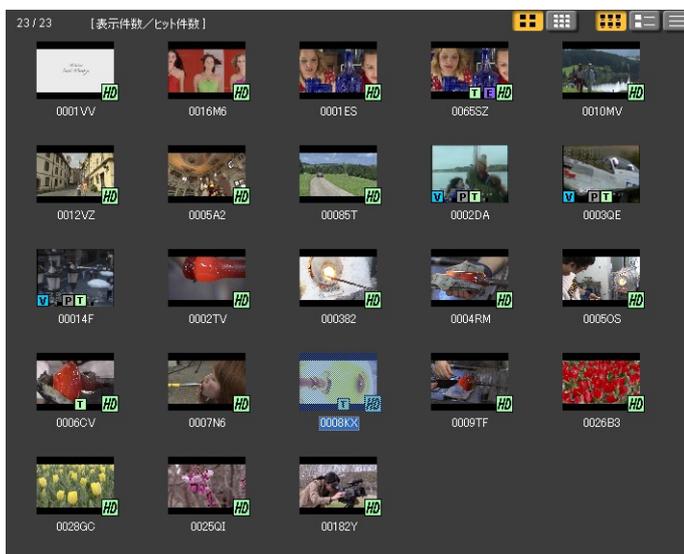


- 表示帳票の **Export/印刷** を上部アイコンから行うことができます。

## P 2 メタデータの変更

### 1. メタデータを変更する素材を選択します。

右側の素材リストを選択することによりメタデータを変更する素材を決めることができます。選択時に有効な Windows のショートカットキーは **Ctrl+A** (全選択)、**Ctrl+クリック** (指定選択)、**Shift+クリック** (範囲選択) です。



### 2. メニューからプロパティを選択します。

リスト表示部で右クリックから[プロパティ (R)]、もしくはメインメニューの[編集(E)] → [プロパティ (R)]を選択するとプロパティ画面が表示されます。



### 3. プロパティ画面が開きます。

選択した素材のメタデータが表示されます。複数の素材を選択した場合には一致しているメタデータのみ表示されます。



1コンテンツ選択の場合

複数コンテンツ選択の場合

### 4. メタデータの値を変更します。

変更したいメタデータの値を変更/入力することができます。

変更したいメタデータの項目欄を選択した後、シングルクリックで変更可能になります。

※ ダブルクリックになってしまうと変更できません。

### 5. OKをクリックするとメタデータを更新します。

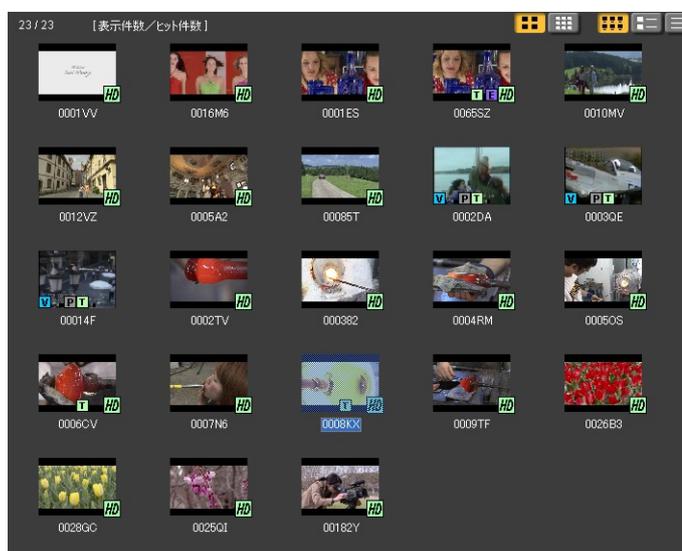
OKをクリックすることで選択されている素材全てのメタデータを一括して変更します。

キャンセルをクリックするとメタデータの更新は行いません。

## ファイルの添付

### 1. 添付ファイルを設定したい素材を選択します。

右側の素材リストを選択することにより添付ファイルを設定する素材を決めることができます。添付ファイルの設定は複数素材に登録することはできません。



### 2. メニューからプロパティを選択します。

リスト表示部で右クリックから[プロパティ (R)]、もしくはメインメニューの[編集(E)] → [プロパティ (R)]を選択するとプロパティ画面が表示されます。



### 3. プロパティ画面が開きます。

選択した素材のメタデータが表示されます。複数の素材を選択した場合には一致しているメタデータのみ表示されます。



### 4. 添付ファイルタブをクリックします。

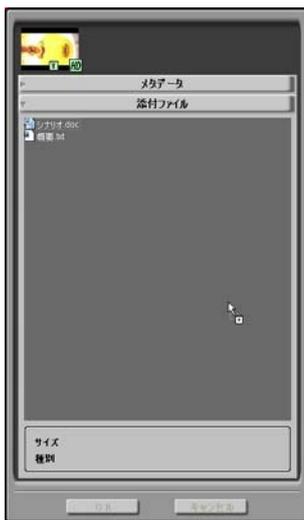
現在登録されている添付ファイルが表示されます。



5. エクスプローラで追加したいファイルをドラックします。



6. 添付ファイルの欄にドロップします。



7. 添付ファイルがコピーされます。



8. ファイルが添付されます。

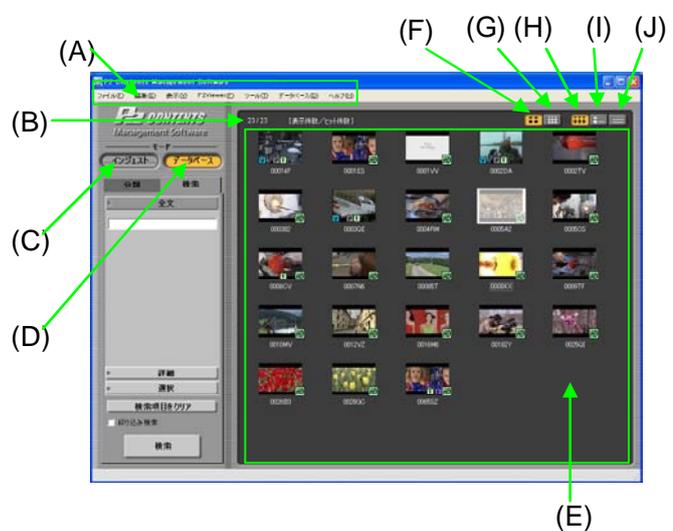


# 機能

## 表示

### 1. 一覧表示

メイン画面には P2 素材を一覧で表示する表示部があります。表示するメタデータは設定することができます。



- (A) メインメニュー  
メニューの中の上記ボタンと同じ機能を持っているメニューです。
- (B) ヒット件数  
検索でヒットした件数を表示します。
- (C) インジェストボタン  
データベースモード時、インジェストボタンを押下すると、インジェストモードに遷移します。
- (D) データベースボタン  
インジェストモード時、データベースモードボタンを押下すると、データベースモードに遷移します。

- (E) 検索該当クリップ表示  
P2 素材リスト表示するエリアです。  
設定されている表示できる素材数以上が表示対象になった場合には表示できません。多くの素材を表示させたい場合には設定を変更してください。ただし、表示数を多くすると表示更新に時間がかかります。
- (F) サムネイル画像サイズ切り替えボタン (大)  
リスト表示時のアイコン (サムネイル) サイズを大に変更します。
- (G) サムネイル画像サイズ切り替えボタン (小)  
リスト表示時のアイコン (サムネイル) サイズを小に変更します。
- (H) アイコンビュー切り替えボタン  
(F)の表示形式をアイコン表示にします。
- (I) 詳細ビュー切り替えボタン  
(F)の表示形式を詳細表示にします。
- (J) テキストビュー切り替えボタン  
(F)の表示形式をテキスト表示にします。

## 2. クリップ表示画面切り替え

- ボタンによる切り替え  
アイコン表示ボタンを押下すると、(E)に映像ショットのサムネイル画像のみを表示します。  
詳細表示ボタンを押下すると、(E)にサムネイル画像とメタ情報を表で表示します。  
テキスト表示ボタンを押下すると、(E)にサムネイル画像を表示せず、メタ情報のみを表で表示します。
- メニューによる切り替え  
ボタンによる切り替えと同様にメインメニューでも切り替えができます。  
[表示] → [表示切り替え] → [サムネイル]  
[表示] → [表示切り替え] → [詳細]  
[表示] → [表示切り替え] → [テキスト]

## 3. サムネイル画像表示サイズ切り替え

- ボタンによる切り替え  
アイコン表示、詳細表示で映像クリップを表示している場合、アイコン大ボタンを押下すると(E)のサムネイル画像が80×60のサイズで表示されます。  
アイコン小ボタンを押下すると40×30のサイズで表示されます。
- メニューによる切り替え  
ボタンによる切り替えと同様にメインメニューでも切り替えができます。  
[表示] → [サムネイル] → [大]  
[表示] → [サムネイル] → [小]

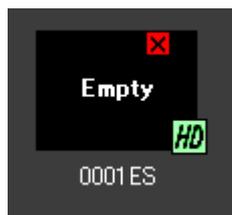
#### 4. インジケータ

クリップのアイコンには情報を示すためのインジケータが表示される場合があります。オフラインに関してはフィルター表示（白フィルター処理）した **BMP** 表示されます。



- **V** (水色)  
ボイスメモが記録されている時に表示します。
- **M** (オレンジ)  
ショットマークが記録されている時に表示します。
- **P** (グレー)  
プロキシ映像がある時に表示します。
- **T** (黄緑色)  
テキストメモが記録されている時に表示します。
- **E** (紫色)  
エディットコピーを行ったクリップが記録されている時に表示します。
- **X** **X** (赤色、黄色)  
P2 機器等で記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは修復が可能な場合があります。クリップの修復は本ソフトウェアでは行うことができません。P2 機器にて修復を行ってください。  
赤色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない時には、P2 カードをフォーマットしてください。  
※このインジケータは他の P2 機器で再生、編集できることを保証するものではありません。
- **?** (黄色)  
クリップが P2 規格フォーマットなど異なる時に表示します。
- **!** (ピンク)  
複数のクリップで記録されたクリップであるにもかかわらず、クリップがそろっていない時に表示します。
- **HD** (黄緑色)  
DVCPRO HD または AVC-Intra フォーマットで記録されている時に表示します。
- **W** (黄緑色)  
16 : 9 の画角で記録されている時に表示します。但し、HD フォーマットのクリップの時は表示されません。

サムネイルがない場合には次のようにサムネイルが表示できない Empty 表示します。



## 5. 表示のソート

詳細表示／テキスト表示の時に項目をクリックすることで該当項目のソートを行うことができます。  
素材の連続再生を行う場合に再生する順番にソートすることで再生順番を決めることができます。

ソートしていない場合、ソート矢印は表示されません。

デュレーション

昇順にソートしている場合、上向きソート矢印が表示されます。

▲デュレーション

降順にソートしている場合、下向きソート矢印が表示されます。

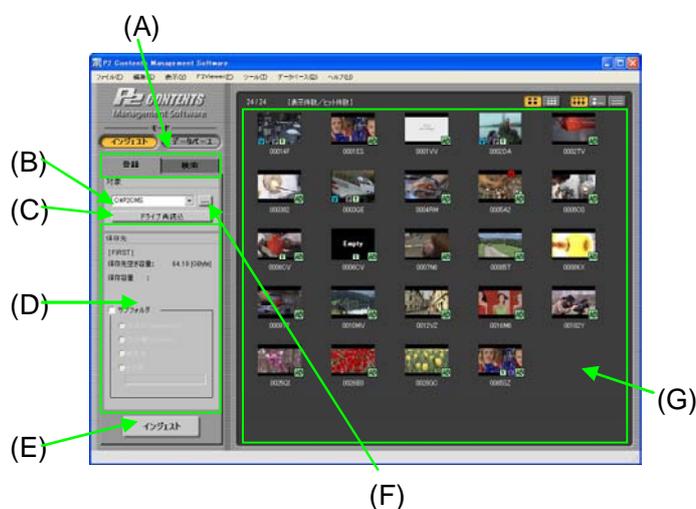
▼デュレーション

ソートの昇順／降順は表示文字列で行います。

例えば「TEST1」「TEST10」「TEST2」と並びます。番組名等に数字文字列を入力してソートしたい場合には使用する桁を意識して付与してください。例えば3桁の数字文字列を使用する可能性がある場合には「TEST001」「TEST002」「TEST010」とすることによって数字を意識したソートを行うことができます。

# インジェスト（登録）

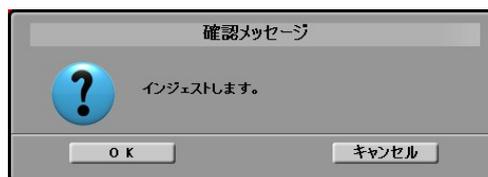
## 1. インジェスト画面



- (A) 登録／検索タブ  
登録機能と検索機能を切り替えることができます。  
検索タブを押すと、検索画面に遷移します。
- (B) インジェスト対象ドライブ ドロップダウン  
インジェスト対象ドライブを選ぶことができます。  
対象はドライブ+All P2 Cardになります。All P2 Cardを選択すると、接続されている全P2カードの素材を対象とすることができます。
- (C) ドライブ再読み込みボタン  
現在の(B)インジェスト対象ドライブ ドロップダウンを更新します。ドライブ接続を更新した際に押下してください。更に現在指定している読み込み先から(G)クリップ表示を読み込みなおします
- (D) 保存先の設定  
保存先の設定項目です。
- (E) インジェストボタン  
インジェストを開始します。
- (F) インジェスト元参照ボタン  
インジェスト元を参照指定することができます。
- (G) クリップ表示  
P2素材リスト表示するエリアです。

## 2. インジェスト操作

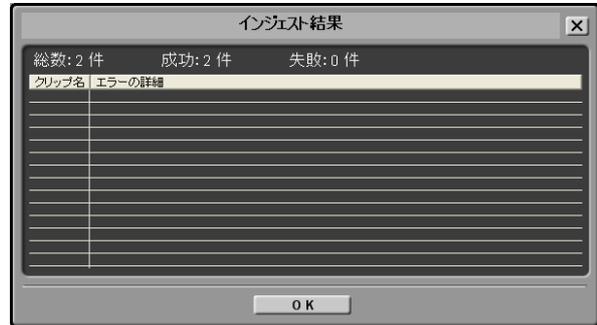
1. インジェストしたい映像クリップが保存されているドライブを(B)のドロップダウン]から選択、もしくは(F)の参照ボタンで設定をします。
  - ※ 選択したドライブ、フォルダに保存されているP2素材を全てサーチしますので、サブフォルダが多い場合には時間がかかります。(F)インジェスト元参照ボタンでフォルダを指定することによりサーチする対象を限定することができます。
2. 指定したドライブ/フォルダに格納されている P2 素材が(G)に表示します。
3. インジェストしたいクリップを選択すると、反転します。  
Ctrl を押しながらクリックすると任意の複数のクリップを選択します。  
Shift を押しながらクリックすると連続した複数のクリップを選択します。  
Ctrl+A、もしくはメインメニューの [編集] → [全て選択] を押すと全てのクリップを選択します。
  - ※ クリップ表示途中での全て選択を行った場合、未表示クリップの選択は待ち状態になります。その間システムはカーソルを砂時計表示になります。
  - ※ 素材の選択後、素材に必要な容量を計算しています。計算が終了するまでインジェストボタンは有効になりません。
4. (E)のインジェストボタンを押下すると、確認ダイアログが表示されるので、OK を押下します



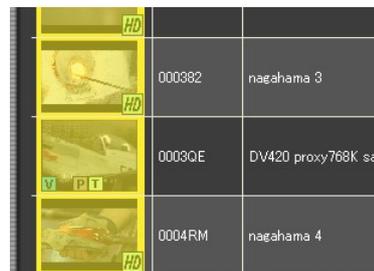
5. インジェスト開始します。



- インジェストが完了すると、下図を表示します。インジェストに失敗したクリップがある場合は、失敗したクリップの **CLIP ID** とエラー内容を表示します。失敗した場合、取り込みが成功する前にP2カード等のインジェスト元を削除すると、素材が失われます。(付録「こんなときには」を参照)



- OKを押すとメイン画面に戻ります。
- インジェストされたコンテンツはリスト表示色が変わります。



### 3. 保存先の設定（サブフォルダ指定）

登録したクリップの保存先を指定する場合はサブフォルダ指定機能を使用します。指定するとプロジェクト下に、指定した名前のサブフォルダを作成し、そのフォルダにクリップを保存します。

サブフォルダを指定するには[サブフォルダオプション]をチェックします。チェックすると、ラジオボタンが有効になります。ラジオボタンの状態により下記サブフォルダが生成されて保存されます。

作成日、作成曜日はメタデータに記述されているデータに基づいて処理しますので、1回のインGEST操作で複数のフォルダが作成されることがあります。作成日又は作成曜日の基準となるのはメタデータの撮影終了日、ない場合は作成日、XML作成日を用います。

- 作成日  
メタデータに記述している素材作成日を対象とします。  
yyyyymmdd形式のサブフォルダに登録します
- 作成曜日  
メタデータに記述している素材作成曜日を対象とします。  
Www形式の曜日のフォルダに登録します
- 撮影者  
撮影者名のフォルダに登録します
- その他  
テキストボックス内の文字列のフォルダに登録します

<作成曜日フォルダに保存する場合>

サブフォルダ

作成日 (yyyyymmdd)

作成曜日 (Www)

撮影者

その他

\_\_\_\_\_

<指定のフォルダに保存する場合>

サブフォルダ

作成日 (yyyyymmdd)

作成曜日 (Www)

撮影者

その他

2007年9月京都撮影

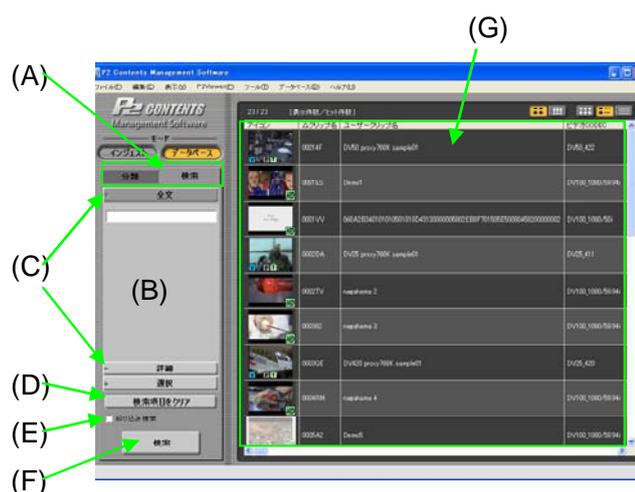
# 検索

全文検索／詳細検索／選択検索の3種類の検索方法があります。

インジェストモードのときに検索すると指定したフォルダ下のクリップを検索します

データベースモードのときに検索するとデータベース登録済みクリップを検索します。

## 1. 検索画面



- (A) 分類／検索タブ  
分類機能と検索機能を切り替えることができます。  
(データベースモードの時)
- (B) 全文検索  
全文検索するキーワードを設定します。
- (C) 検索方法切り替えタブ  
全文検索／詳細検索／選択検索の切り替えを行います。
- (D) 検索項目をクリア  
検索した条件をクリアします。
- (E) 絞り込み検索  
絞り込み検索を行います。
- (F) 検索ボタン  
検索を実行します。
- (G) クリップリスト  
検索でヒットしたクリップのリスト表示エリアです。

## (H) 詳細検索

詳細検索する条件を設定します。

- ユーザクリップ名  
ユーザクリップ名を入力します。
- 番組名  
番組名を入力します。
- ショットマーク  
コンボボックスでショットマークを ON/OFF します。  
再生画面の OK ボタンを ON した場合にはショットマーク ON になり、OFF した場合にはショットマーク OFF となります。

- 撮影者/撮影日/作成者/作成日/最終更新者/最終更新日  
ラジオボタンで撮影/作成/最終更新を選択してオペレータや日付を入力します。

<例>

山本さんが撮影した 2007/5/7～6/3 の映像

○ フレームレート

NTSC/PAL を選択します。

チェックボックスを ON にすることで有効にできます。



○ ビデオ CODEC

HD/SD を選択します。

チェックボックスを ON にすることで有効にできます。

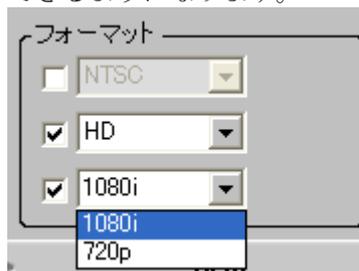


○ フォーマット

1080i/720p を選択します。

チェックボックスを ON にすることで有効にできます。

ビデオ CODEC で HD を選択した場合のみ選択ができるようになります。



(I) 選択検索

選択検索する選択した項目を設定します。

(最大4個まで)

検索キーで空白を選択すると検索条件から外れて検索する文字列はクリアされます。



The image shows a search interface with four search key fields labeled 検索キー-1, 検索キー-2, 検索キー-3, and 検索キー-4. Each field has a dropdown arrow. Below these fields is an options section labeled オプション with two radio buttons: AND (selected) and OR. A green box highlights the four search key fields, and a green arrow points to the label (I) next to the third field.

2. 絞り込み検索

(E)のチェックボックスにチェックして検索を実行すると現在表示されている検索結果に対して、絞り込んで検索を行うことができます。

### 3. 全文検索

データベースの指定項目に対して検索を行います。検索する文字を空白で区切ることで、各ワードの **OR** 検索をすることができます。

空白を含む文字列で検索したい場合はシングルクォーテーションで囲んでください。（最大255文字です）

1. (C)のタブから[全文]をクリックし、(B)の画面に切り替えます。
2. テキストボックスに文字を入力します。（最大1000文字）
3. 検索ボタンを押下すると、検索を開始します。
4. 検索中はプログレスバーが表示され、P2CMS は操作できません。
5. 検索結果がリストに表示されます。

- ほとんどのデータベース項目に対して検索を行います。一部の項目は検索から除外されています。  
除外されている項目はグローバルクリップ ID 等の収録機器によって一意に決められた項目、ショットマーク等のフラグ、シーン番号等の数値項目と下記項目になります。  
コンテンツのパス、RFID、バックアップメディアの識別キー

### 4. 詳細検索 / 選択検索

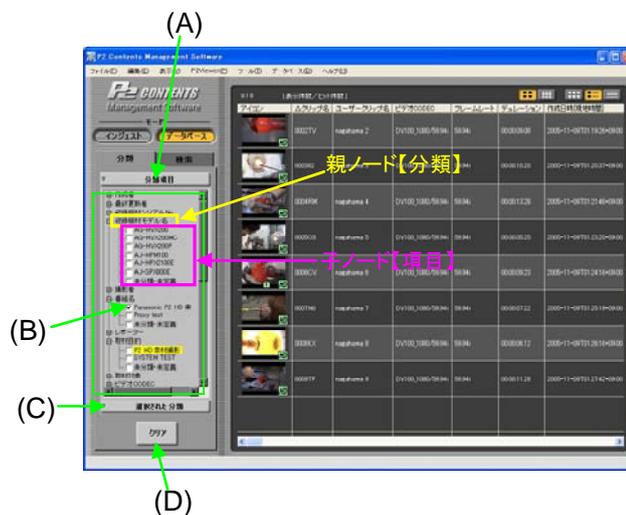
1. (C)のタブから[詳細]をクリックし、(H)もしくは (I) の画面に切り替えます。
2. 各項目に検索条件を入力します。
3. 検索ボタンを押下すると、検索を開始します。
4. 検索中はプログレスバーが表示され、P2CMS は操作できません。
5. 検索結果がリストに表示されます。

# 分類

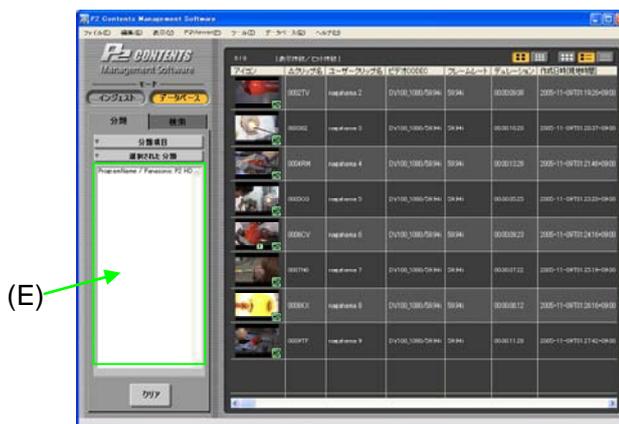
分類検索は、分類／項目を選択することで該当するクリップを検索し、表示する機能です。本機能はインGESTされたP2素材に対して行うことができます。（データベースモードのみ）

また、クリップを任意の分類／項目に登録することができます。

## 1. 分類画面



- (A) 分類項目バー  
分類項目のツリービューを表示します。
- (B) 分類項目  
表示したい項目をチェックして、その項目に該当するクリップを検索することができます。
- (C) 選択された分類バー  
現在チェックされている項目を一覧表示します。
- (D) クリアボタン  
現在選択されている分類項目のチェックを全て外します。



- (E) 選択された分類リスト  
現在チェックされている項目のリストを表示します。

## 2. 分類項目による検索をする

1. 検索したい【分類】をチェックします。
2. チェックした【分類】の【項目】で、検索したい【項目】をチェックします。
3. チェックすると自動的に該当するクリップを検索します。検索中はプログレスバーが表示され、P2CMSは操作できません。
4. 検索結果がリストに表示されます。
5. 【項目】をチェックしていても、その【項目】の【分類】がチェックされていない場合は反映されません。

## 3. 現在選択している分類を確認する

- 選択された分類バー（図の(C)）をクリックすると、現在チェックされている分類／項目をリストで表示します。このときクリアボタン（図の(D)）は表示しません。
- 分類項目バー（図の(A)）をクリックすると、分類のリストビュー表示に戻ります。このときクリアボタンを表示します。

#### 4. クリップを分類する

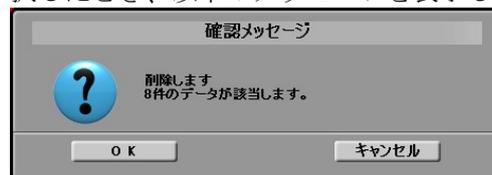
- クリップを【項目】にドラッグ&ドロップをすると、クリップのメタにドロップ先の分類／項目に登録することができます。

#### 5. 分類項目を追加する

1. 追加したい【項目】の【分類】をクリックします。
  2. [メインメニュー] → [編集] → [追加] を選択、もしくは、[コンテキストメニュー] → [項目の追加] を選択します。
  3. 選択されている【分類】を展開し、そこに子ノードが追加され、入力可能状態になります。
  4. 任意の項目名を入力します
  5. 入力中の【項目】からフォーカスが外れると追加が完了します。
  6. 追加した【項目】において、何も入力されずにフォーカスが外れた場合、追加した【項目】を削除します。
- ※ 分類項目は現在選択中のデータベースに格納されている素材で使用されている項目が表示される仕組みになっております。新しい項目を追加して素材を割りつけない状態で他の作業に移ると項目が自動的に消去されてしまう可能性があります。

#### 6. 分類項目を削除する

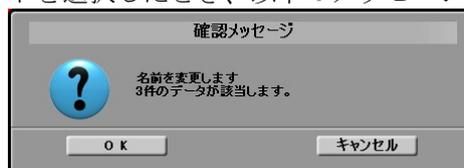
1. 削除したい【項目】をクリックします。
2. [メインメニュー] → [編集] → [削除] を選択、もしくは、[コンテキストメニュー] → [項目の削除] を選択します。
3. 項目が削除されます。
4. 既に登録済みの【項目】に対して、[削除]コマンドを選択したとき、以下のメッセージを表示します。



5. OK を押すと項目が削除され、該当クリップの分類／項目情報を更新します。更新中はプログレスバーが表示され、P2CMS は操作できません。
6. Cancel を押すと削除を中止します

## 7. 分類項目を変更する

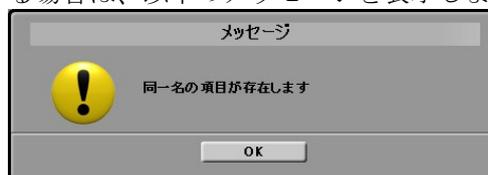
1. 項目名変更したい【項目】をクリックします。
2. [メインメニュー] → [編集] → [名前の変更]を選択、もしくは、[コンテキストメニュー] → [名前の変更]を選択します。
3. 選択した【項目】が編集可能状態となり、名前を変更することができます。
4. 既に登録済みの【項目】に対して、[名前の変更]コマンドを選択したとき、以下のメッセージを表示します。



5. OKを押すと【項目】が編集可能状態となり、名前を変更することができます。
  6. Cancelを押すと名前の変更を中止します
  7. 変更完了後、該当クリップの分類／項目情報を更新します。更新中はプログレスバーが表示され、P2CMSは操作できません。
- 名前の変更で、項目名が空白の状態ではフォーカスが外れた場合は、変更前の状態に戻します。



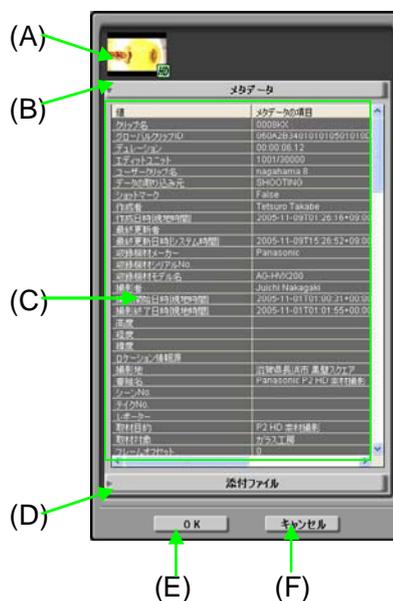
- 名前の変更で、同じ【分類】に既存項目と同じ名前がある場合は、以下のメッセージを表示します。



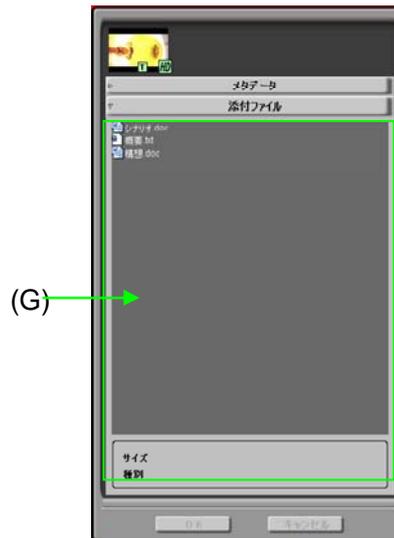
# プロパティ

メタデータの確認、変更、添付ファイルの追加、削除、オープンを行うことができます。添付ファイルの操作はインジェストされたP2素材に対して行うことができます。(データベースモードのみ)

## 1. メタデータ画面



- (A) サムネイル  
選択したクリップのサムネイルを表示します。複数のクリップを選択した場合にはサムネイルは表示されません。
- (B) メタデータバー  
メタデータを表示します。
- (C) メタデータ表示エリア  
選択したクリップのメタデータを表示します。変更できる項目に関しては表をダイレクトに変更することができます。  
複数のクリップを選択した場合には一致しているデータのみ表示し、入力データはすべてのクリップが対象となります。
- (D) 添付ファイルバー  
添付ファイルリストを表示します。  
複数のクリップを選択した場合には操作できません。
- (E) OK ボタン  
メタデータの変更をXMLファイル、データベースに反映させます。
- (F) キャンセルボタン  
メタデータの変更を破棄します。  
添付ファイル操作のキャンセルはできません。



- (G) 添付ファイルリスト表示エリア  
関連付けられている添付ファイルリストを表示します。

## 2. メタデータの変更

変更できるメタデータは\*表示されています。

1. メタデータの項目欄を選択すると選択された状態になります。

シーンNo.	
テイクNo.	
レポーター	
取材目的	P2 HD 素材撮影

2. 選択された状態でシングルクリックすると入力・変更できるようになります。

シーンNo.	
テイクNo.	
レポーター	
取材目的	P2 HD 素材撮影

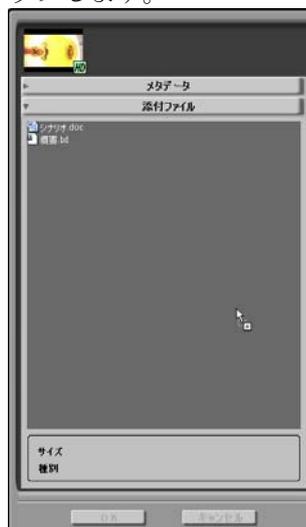
3. 入力して Enter キーで確定することができます。

番組名	Panasonic P2 HD
シーンNo.	
テイクNo.	
レポーター	山田太郎
取材目的	P2 HD 素材撮影

4. OK ボタンをクリックするとメタデータが修正した内容で反映されます。キャンセルボタンをクリックするとメタデータは反映されません。複数の P2 素材が選択されている場合には選択されている P2 素材に適用されます。

## 3. 添付ファイルの追加

1. 添付ファイル欄に添付したいファイルをドラック&ドロップします。



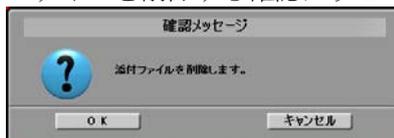
2. 添付ファイルが追加されます。

#### 4. 添付ファイルの削除

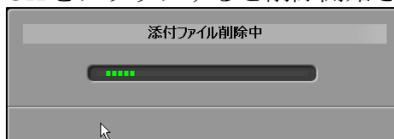
1. 削除したいファイルを指定して右クリックメニューで削除を選択します。



2. ファイルを削除する確認メッセージが表示されます。



3. OKをクリックすると削除開始されます。



4. ファイルが削除されます。



- 添付ファイル表示の場合にはプロパティダイアログのボタンは押せないようになっています。

## 5. 添付ファイルのオープン

1. オープンファイルを指定して右クリックメニューで「開く」を選択します。



2. パソコンに関連付けられているアプリケーションで添付ファイルがオープンします。

# 再生

映像の再生、メタデータ(ロギングデータ)の表示・作成、ショットマークの変更を行うことができます。複数の P2 素材を選択して再生をすることができます。(最大100素材)

再生ウィンドウが表示されている時にはメタデータ操作の競合を防ぐために、下記操作ができません。

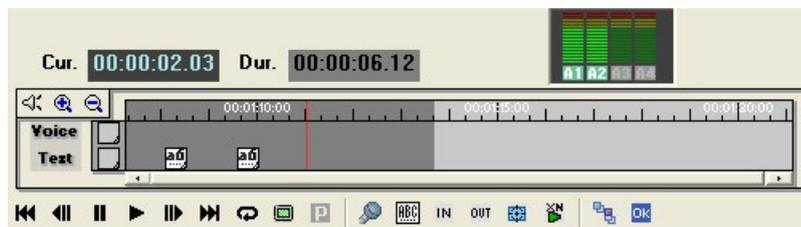
- プロパティの表示ができない
- エクスポート、リストア、バックアップ、アーカイブが実行できない
- コンテンツの削除ができない
- P2 カードプロパティのフォーマットが実行できない
- ショットマークの変更ができない
- 分類検索の子ノードの名前の変更と削除ができない

## 1. 再生画面



## 2. 再生制御

現在再生中の素材に対して処理を行うことができます。

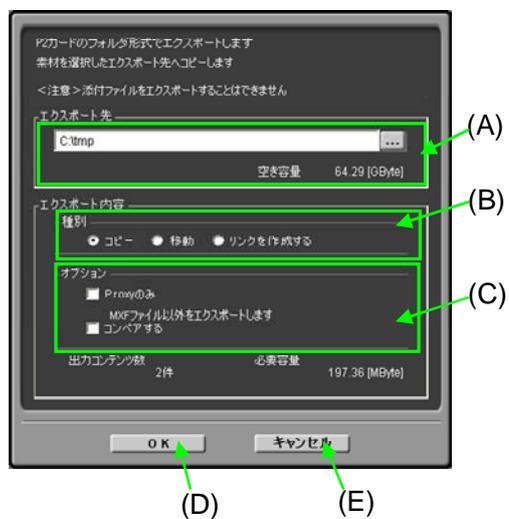


-  : 先頭フレームにジャンプします。
-  : 1フレーム戻ります。
-  : 一時停止します。
-  : 再生します。
-  : 1フレーム進みます。
-  : 最終フレームにジャンプします。
-  : 再生ループ設定にします。
-  : フルスクリーン再生モードにします。
-  : MPEG4再生モードにします。MPEG4コーデックがインストールされていない場合には無効です。
-  : ボイスメモを記録します。
-  : テキストメモを記録します。
-  : ロギング[IN]マークを記録します。
-  : ロギング[OUT]マークを記録します。
-  : フルサイズ静止画をキャプチャします。
-  : 設定された値で倍速再生します。
-  : クリップのサムネイルを現在のフレームで作成/変更します。
-  : ショットマーク ON/OFF を切り替えます。

# エクスポート

選択したクリップを HDD に出力する機能です。

## 1. エクスポート画面



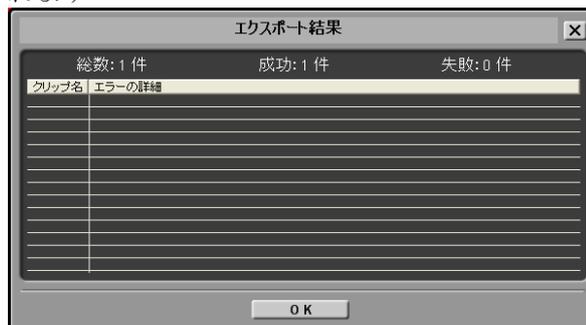
- (A) エクスポート先  
出力先のアドレスを参照指定します。
- (B) 種別選択  
下記種別を選択します。
  - 1) コピー  
クリップデータを HDD にコピーします。
  - 2) 移動  
クリップデータを HDD に移動します。  
データベースから削除します (クリップデータも削除)
  - 3) リンクを作成する。  
クリップデータのハードリンクを出力します。  
「リンクを作成する」を選択することによって出力されるハードリンクは、P2CMS が管理しているデータファイルに直接リンクを作成します。リンク先にすでに同一ファイル名が存在するときハードリンクは失敗します。NTFS で同一ボリュームの場合のみ可能です。
- (C) オプション  
エクスポートのオプションを選択します。
  - 1) Proxy のみ  
映像ファイルは Proxy 映像ファイルのみ出力します
  - 2) コンペア  
エクスポートしたファイルとエクスポート元のファイルをバイナリファイルとして比較します
- (D) OK ボタン  
エクスポートを開始します。
- (E) キャンセルボタン  
エクスポート画面を閉じます。

## 2. 操作

1. クリップを選択し、右クリックメニューから [エクスポート] もしくは、メインメニューの [ファイル] → [エクスポート] を選択します
2. エクスポート画面が開きます
3. 参照ボタンを押下し、出力先のフォルダを参照指定します
4. 種別から、コピー／移動／リンクを作成するから選択します
5. オプションを選択します。
  - 1) コンペアする場合は、「コンペアする」にチェックします。
  - 2) 実映像データをコピーしない場合には「Proxyのみ」にチェックします。
6. OK を押下します
7. エクスポートするかどうか確認ダイアログが表示されるので「OK」を押下します
8. MOVE の場合、元のデータは添付ファイルを含めて削除されるので、警告画面で再確認メッセージを表示します。
9. エクスポートが始まります
10. エクスポート中は進捗ダイアログを表示し、プログレスバーで状況を知らせます



11. エクスポートが完了したら、結果画面を表示します。エラーのあったクリップについては、エラー内容が表示されます



12. OK を押下すると画面を閉じます。

# バックアップ

選択したクリップを光メディアにバックアップする機能です。（データベースモードのみ）

## 1. バックアップ画面



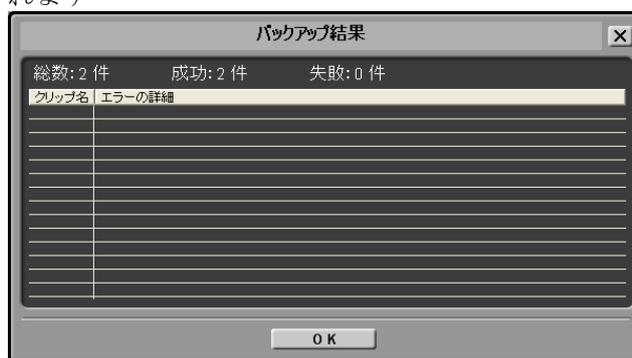
- (A) ドライブ  
バックアップ先の光メディアドライブを選択します  
(光ドライブのみ選択可)
- (B) コンペア  
チェックすると、バックアップしたファイルとバックアップ元のファイルをバイナリファイルとして比較します
- (C) OK ボタン  
バックアップを開始します。
- (D) キャンセルボタン  
バックアップ画面を閉じます。

## 2. 操作

1. クリップを選択し、右クリックメニューから [バックアップ] もしくは、メインメニューの [ファイル] → [バックアップ] を選択します
2. バックアップ画面が開きます
3. 参照ボタンを押下し、バックアップ先のフォルダを参照指定します
4. コンペアする場合は、「コンペアする」にチェックします
5. OK を押下します  
メディアが挿入されていない場合は“メディアを挿入してください”のメッセージが表示します
6. メディアのラベル名の入力ダイアログが表示される
7. OK を押下すると、バックアップが始まります
8. バックアップ中は進捗ダイアログを表示し、プログレスバーで状況を知らせます



9. バックアップが完了したら、結果画面を表示します。エラーのあったクリップについては、エラー内容が表示されます



10. OK を押下すると画面を閉じます。

### 3. バックアップメディアに関して

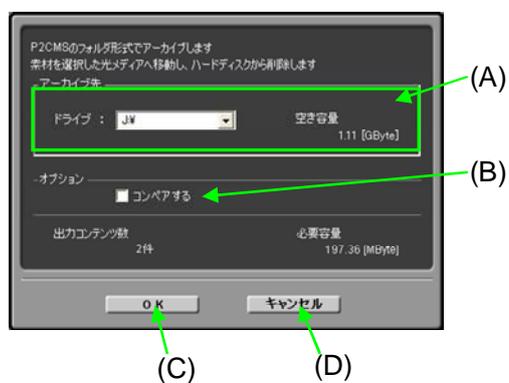
バックアップメディア（光メディア）に対する行える操作は以下のとおりです。

- メディアから再構築  
バックアップしたメディアのクリップのデータベースを作成できます。データはコピーしませんので、必要な場合は再構築後、リストアしてください。
- 登録（インジェスト）  
バックアップメディアから、別のデータベースに登録します。

# アーカイブ

選択したクリップを光メディアにアーカイブする機能です。（データベースモードのみ）

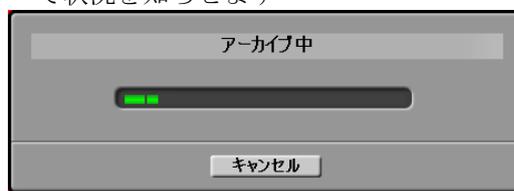
## 1. アーカイブ画面



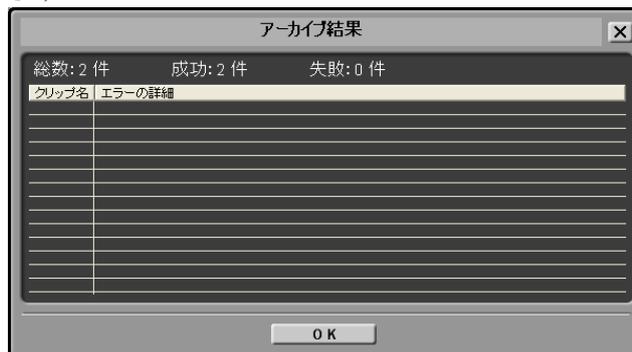
- (A) ドライブ  
アーカイブ先の光メディアドライブを選択します  
(光ドライブのみ選択可)
- (B) コンペア  
チェックすると、アーカイブしたファイルとアーカイブ元のファイルをバイナリファイルとして比較します
- (C) OK ボタン  
アーカイブを開始します。
- (D) キャンセルボタン  
アーカイブ画面を閉じます。

## 2. 操作

1. クリップを選択し、右クリックメニューから [アーカイブ] もしくは、メインメニューの [ファイル] → [アーカイブ] を選択します
2. アーカイブ画面が開きます
3. 参照ボタンを押下し、アーカイブ先先のフォルダを参照指定します
4. コンペアする場合は、「コンペアする」にチェックします
5. OK を押下します  
メディアが挿入されていない場合は“メディアを挿入してください”のメッセージが表示します
6. メディアのラベル名の入力ダイアログが表示される
7. OK を押下すると、アーカイブが始まります
8. アーカイブ中は進捗ダイアログを表示し、プログレスバーで状況を知らせます



9. アーカイブが完了したら、結果画面を表示します。エラーのあったクリップについては、エラー内容が表示されます



10. OK を押下すると画面を閉じます。

### 3. アーカイブメディアに関して

アーカイブメディア（光メディア）に対する行える操作は以下のとおりです。

- リストア  
選択したクリップをアーカイブしたデータを戻すことができます。
- メディアから再構築  
アーカイブしたメディアのクリップのデータベースを作成できます。データはコピーしませんので、必要な場合は再構築後、リストアしてください。
- 登録（インGEST）  
アーカイブメディアから、別のデータベースに登録します。

# リストア

選択したクリップ情報を光メディアから管理フォルダにコピーします。  
(データベースモードのみ)

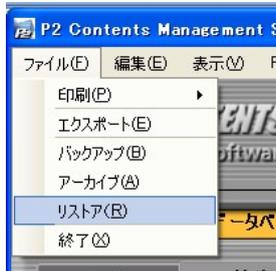
## 1. リストア画面



- (A) ドライブ指定コンボボックス  
読み込む光メディアドライブを指定します。
- (B) コンペア  
リストアしたファイルとリストア元のファイルをバイナリファイルとして比較します。
- (C) OKボタン  
リストアを開始します。
- (D) キャンセルボタン  
リストア画面を閉じます。

## 2. リストアする

1. 状態が「オフライン」であるクリップを選択し、右クリックメニューから [リストア] もしくは、メインメニューの [ファイル] → [リストア] を選択します



2. リストア画面が表示されるので、指定されたボリューム名とラベル名の光メディアを挿入します。
3. 挿入したドライブを (A) のコンボボックスから選択します
4. コンペアする場合は、「コンペアする」にチェックします
5. OK ボタンを押します
6. リストアが始まります
7. 複数枚にまたがる場合は、リストア画面と同じようなダイアログを表示する

※以下繰り返し

8. リストア中は進捗ダイアログを表示し、プログレスバーで状況を知らせます





## P2 カード操作

各 P2 カードスロットに挿入されている P2 カードの情報を示すパネルが開きます。

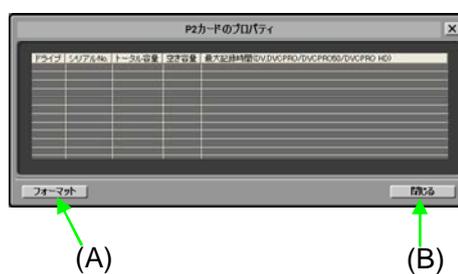
パネルには

- P2 カードが挿入されたドライブ名
- P2 カードのシリアル番号
- 各カードスロットに挿入されている P2 カードの状態
- P2 カードのトータル容量・残容量・最大記録時間

が表示されます。

P2 カードが挿入されているドライブを選択して、フォーマットボタンをクリックすると、選択した P2 カードをフォーマットします。

### 1. P2 カードプロパティ画面



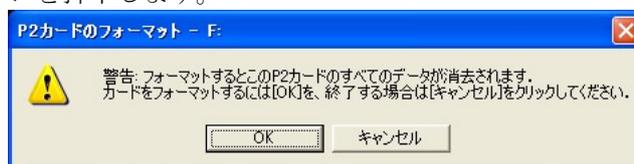
- (A) フォーマットボタン  
選択した P2 カードをフォーマットします。
- (B) 閉じるボタン  
P2 カードのプロパティを閉じます。

## 2. P2カードのフォーマット

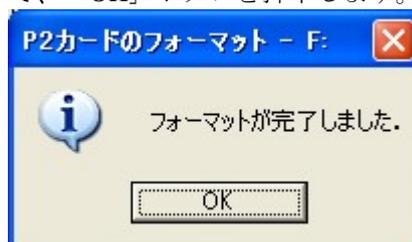
1. P2カードをPCスロットもしくは、P2カードドライブに挿入します。
2. メインメニューの[ツール] → [P2カードフォーマット]を選択します。
3. 現在、認識されているP2カードの一覧が表示されます。
4. ドライブを選択し、「フォーマット」ボタンを押下します。
5. 下図の画面が表示されるので、ボリュームラベルを入力し、「開始」ボタンを押下します



6. フォーマット警告画面が表示されるので、「OK」ボタンを押下します。



7. フォーマットが完了すると、完了画面が表示されますので、「OK」ボタンを押下します。



8. フォーマットが完了します。

## 3. 注意事項

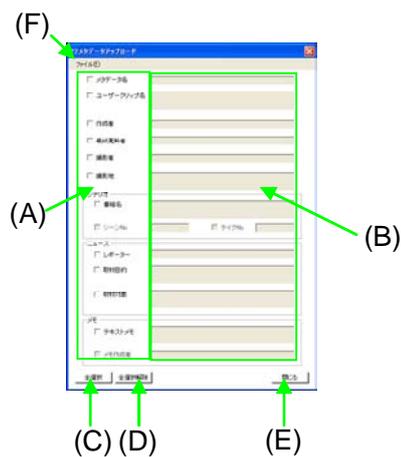
1. [P2カードのプロパティ画面]を開いた状態でP2カードを挿入しても認識されません。

# メタデータアップロード

本機能は、メタデータアップロードファイルを作成する機能です。

作成したメタデータアップロードファイルをSDメモリーカードに記録し、P2カードに記録するカメラレコーダー（以下P2カム）に、そのSDメモリーカードを挿入します。P2カムでクリップを撮影後、クリップに記録するメタデータを、メタデータアップロードファイルから読み込むことが可能になります。

## 1. メタデータアップロード画面



- (A) メタデータ項目  
入力／更新するメタデータの選択をチェックボックスの ON/OFF で行うことができます。
- (B) メタデータ  
対応するメタデータを入力することができます。  
(A) のメタデータ項目が有効になった場合に入力／更新できます。
- (C) 全選択ボタン  
全てのメタデータ項目を選択状態にします。(チェックボックス ON 状態)
- (D) 全選択解除ボタン  
全てのメタデータ項目を非選択状態にします。(チェックボックス OFF 状態)
- (E) 閉じるボタン  
メタデータアップロード画面を閉じます。
- (F) メニュー
  - 新規作成  
表示されているメタデータを全てクリアします。
  - 開く  
ファイルに保存されているメタデータアップロードファイルを読み込みます。読み込めるファイルの拡張子は「.p2」のみです。
  - 上書き保存  
ファイルを上書きで更新します。「開く」メニューで開かれた場合のみ、指定可能です。
  - 名前をつけて保存  
パーソナルコンピュータ内の任意のディレクトリーにメタデータアップロードファイルを保存することができます。ファイルの拡張子は「.p2」のみです。
  - SDカードへ保存  
ドライブ名を入力するパネルが開きますので、SDメモリーカードのドライブ名を入力してください。以下のファイル名でSDメモリーカードに新規に保存され、そのSDメモリーカードをP2デバイスで読み込むことができます。  
  
(ドライブ名) :  
PRIVATE/MEIGROUP/PAVCN/SBG/P2SD/MTDT\*\*.P  
2  
(\*\*は数字 2 文字)

## 2. メタデータの新規作成

1. メニューから、[ファイル] → [新規作成] を選択します。
2. 今まで編集していたデータが消えます。
3. 新しくメタデータを編集することができます。

## 3. メタデータアップロードファイルを開く

1. メニューから、[ファイル] → [開く] を選択します。
2. 任意のメタデータアップロードファイルを選択し、開きます。
3. メタデータアップロードファイルの内容が表示されます。

## 4. メタデータアップロードファイルを編集する

1. クリップを選択してメタデータアップロード画面を開くと、選択しているクリップのメタデータが設定された状態で画面を表示します。
2. 各項目にはチェックボックスがあり、チェックを入れると項目が有効になります。
3. チェックされている項目だけが拡張子.P2 ファイルに反映されます。

## 5. 注意事項

1. 新規作成データは上書き保存できません
2. 新規作成時、編集中のメタデータは消去されます。消去時、確認ダイアログは出ません。
3. シナリオ：番組名をチェックしないと、シーン No.とテイク No.は無効になります
4. メモ：テキストメモをチェックしないと、メモ作成者は無効になります。
5. クリップの XML とデータベースを変更する機能はありません
6. 複数クリップを選択してメタデータアップロード画面を開くと、全項目未設定で画面を表示します
7. 各項目に入力文字数に制限をあります。詳細を表にあらわします。

プロパティ名	桁数
メタデータ名	30
ユーザークリップ名	100
作成者	30
最終更新者	30
撮影者	30
撮影地	100
番組名	100
シーン No.	>0
テイク No.	>0
レポーター	30
取材目的	100
取材対象	100
メモ作成者	30
テキストメモ	100

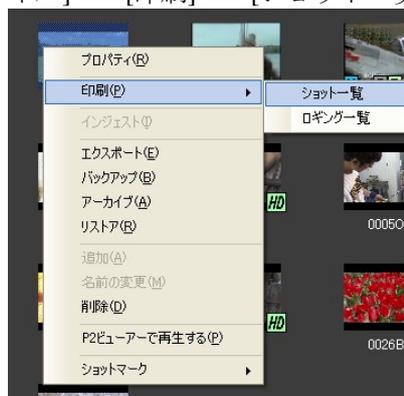
- 桁数は半角文字での桁数になります。全角文字の場合には入力文字数は半分になります。

# 印刷

コンテンツ一覧やログイン一覧を印刷することができます。

## 1. コンテンツ一覧印刷

1. 任意のクリップを選択し、右クリックメニューから [印刷] → [ショット一覧]もしくは、メインメニューの[ファイル] → [印刷] → [ショット一覧] を選択します



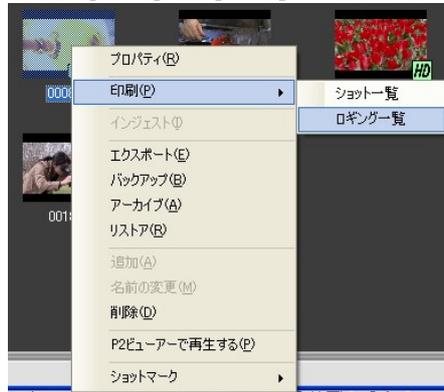
2. 印刷画面が開きます



3. 表示帳票の Export/印刷を上部アイコンから行うことができます。

## 2. ログイン一覧印刷

1. 任意のクリップを選択し、右クリックメニューから [印刷] → [ログイン一覧] もしくは、メインメニューの [ファイル] → [印刷] → [ログイン一覧] を選択します



2. 印刷画面が開きます



3. 表示帳票の Export/印刷を上部アイコンから行うことができます。

## 3. 印刷画面

印刷画面で上部アイコンからエクスポートや印刷ができます。

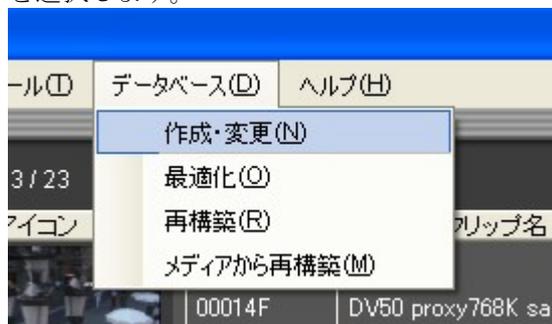


- グループツリーの切り替え表示はクリップ一覧表示では指定できません。

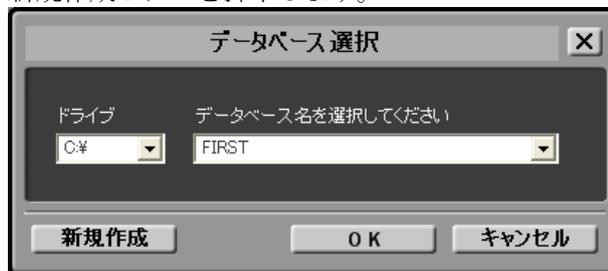
# データベース

## 1. データベースの新規作成

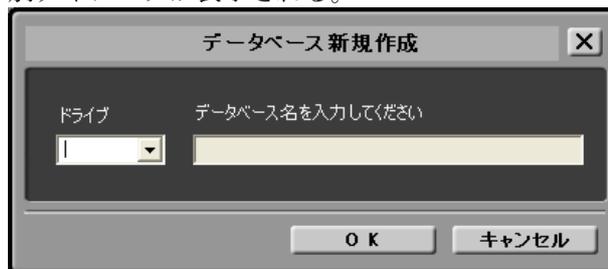
1. メインメニューから、[データベース] → [作成・変更]を選択します。



2. 新規作成ボタンを押下します。



3. 別ダイアログが表示される。



4. ドライブ名を選び、データベース名を入力します。
5. OKを押下します。
6. 新しいデータベースを適用して、データベース画面を閉じます。

## 2. 既存のデータベースを開く

1. メインメニューから、[データベース] → [作成・変更] を選択します。

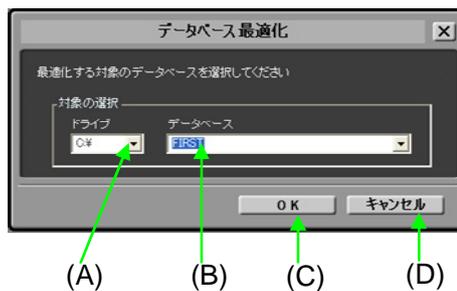


2. 開きたいデータベースがある場所（ドライブ）を指定します。



3. データベース名を入力／コンボボックスから選択します。
4. OK ボタンを押下します。

### 3. データベース最適化画面

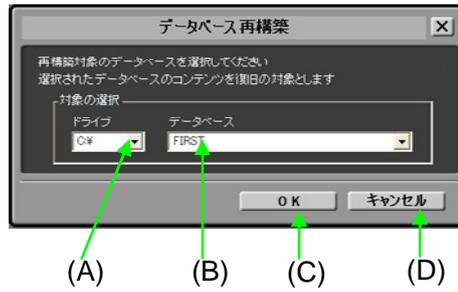


- (A) ドライブ  
最適化するデータベースがあるドライブを指定します。
- (B) データベース  
最適化するデータベース名を指定します。
- (C) OK ボタン  
最適化を開始します。
- (D) キャンセルボタン  
最適化画面を閉じます。

### 4. データベース最適化

1. メインメニューの [データベース] → [最適化] を選択します
2. 最適化対象のデータベースが保存されているドライブを指定します
3. 最適化対象のプロジェクト名を選択します
4. 確認ダイアログの OK を押下すると、最適化が始まります
5. 最適化中はダイアログが表示されます、P2CMSは操作できません。
6. 最適化が終了するとダイアログを閉じます

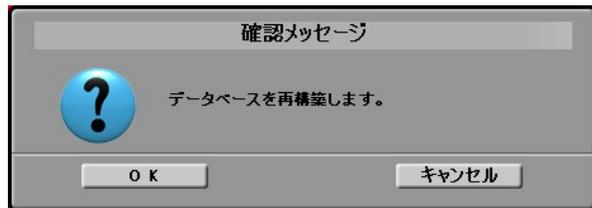
## 5. データベース再構築画面



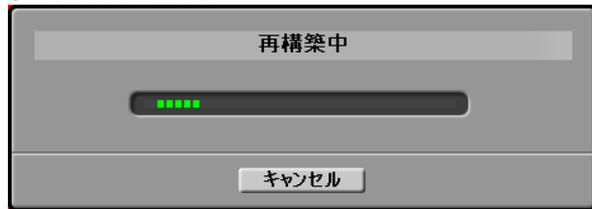
- (A) ドライブ  
再構築するデータベースがあるドライブを指定します。
- (B) データベース  
再構築するデータベース名を指定します。
- (C) OK ボタン  
再構築を開始します。
- (D) キャンセルボタン  
再構築画面を閉じます

## 6. データベース再構築

1. メインメニューの [データベース] → [再構築] を選択します
2. 再構築対象のプロジェクトが保存されているドライブを指定します
3. 再構築対象のプロジェクト名を選択します
4. (C)の OK を押下すると確認ダイアログを表示します  
(現在開かれているデータベースが選択された場合は、そのデータベースを切断するかどうかの確認ダイアログが表示します)
5. 確認ダイアログの OK を押下すると、再構築が始まります

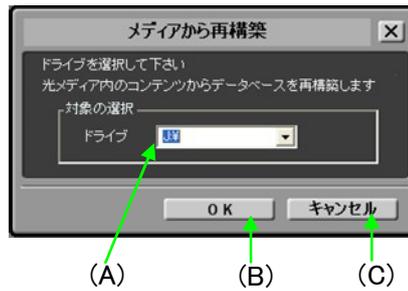


6. 再構築中は進捗ダイアログを表示し、プログレスバーで状況を知らせます



7. 再構築が完了したら、進捗ダイアログが自動的に閉じます。

## 7. メディア再構築画面



- (A) ドライブ  
再構築するデータの入った光メディアのドライブを指定します。
- (B) OK ボタン  
再構築を開始します。
- (C) キャンセルボタン  
メディアから再構築画面を閉じます。

## 8. メディアから再構築

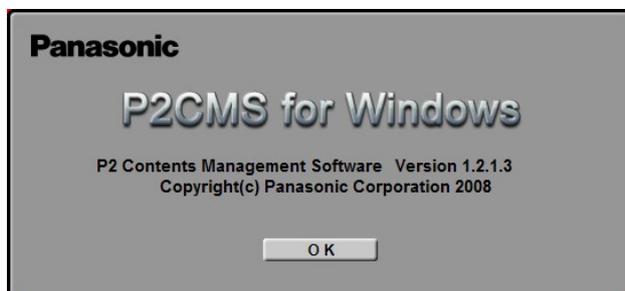
1. メインメニューの [データベース] → [メディアから再構築] を選択します
2. 再構築対象のコンテンツが保存されている光メディアドライブを指定します
3. (B)の OK を押下すると確認ダイアログを表示します
4. 確認ダイアログの OK を押下すると、再構築が始まります
5. 再構築中は進捗ダイアログを表示し、プログレスバーで状況を知らせます
6. 再構築が完了したら、完了ダイアログを表示します。



---

## バージョン表示

P2CMS ソフトウェアのバージョンを表示する機能です。  
表示確認後、OK ボタンで閉じます。



# 設定

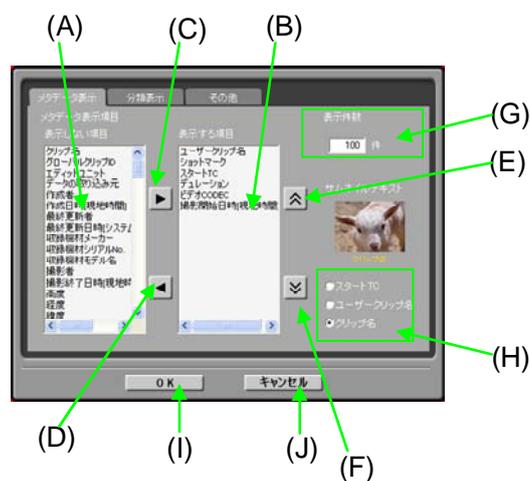
## 各種設定

### 1. 設定画面の表示

メインメニューの [ツール] → [オプション] を選択します

### 2. メタデータ表示設定

メイン画面のクリップ表示で表示する項目を選択します

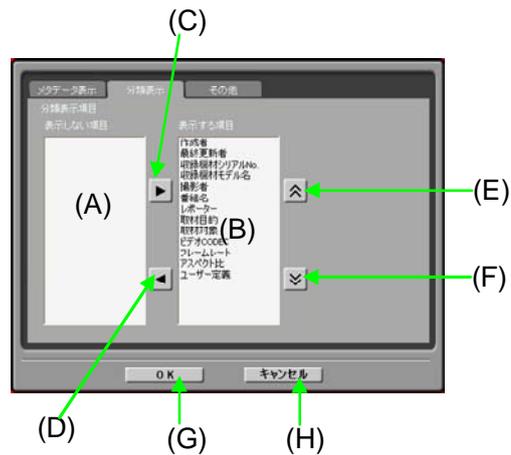


- (A) 表示しない項目のリスト
- (B) 表示する項目のリスト  
最低 1 件は必要です。
- (C) 表示追加ボタン  
(A)のリストで選択したアイテムを表示対象に追加します。
- (D) 表示削除ボタン  
(B)のリストで選択したアイテムを表示対象から外します。
- (E) 表示順変更ボタン (前)  
(B)のリストで選択したアイテムの表示順を前に移動します。
- (F) 表示順変更ボタン (後)  
(B)のリストで選択したアイテムの表示順を後に移動します。
- (G) 表示件数  
検索で表示できるクリップの最大値を設定します。
- (H) サムネイルテキスト  
サムネイル表示の時にテキスト表示する内容を設定します。
- (I) OK ボタン  
設定を反映します。
- (J) キャンセルボタン  
設定をキャンセルします。

- メタデータの表示項目を編集する
  - (1) 表示したい項目は▶のボタンで右のリストへ移動させます
  - (2) 表示したくない項目は◀のボタンで左のリストへ移動させます
  - (3) 表示項目の順番を編集したい場合は、任意の項目を選択し、上下ボタン▲▼で順番を変更します
  - (4) OKを押下すると変更が反映されます
- クリップの最大表示件数を設定する
  - (1) メイン画面で表示したいクリップの最大件数を半角数字で入力します
  - (2) OKを押下すると変更が反映されます
- サムネイルテキストで表示する項目を設定する
  - (1) ラジオボタンで、スタート TC/ユーザクリップ名/クリップ名から選びます
  - (2) OKを押下すると変更が反映されます
  - (3) 設定された項目がサムネイルテキストとして表示されます

### 3. 分類表示設定

分類ツリーで表示する項目を選択します

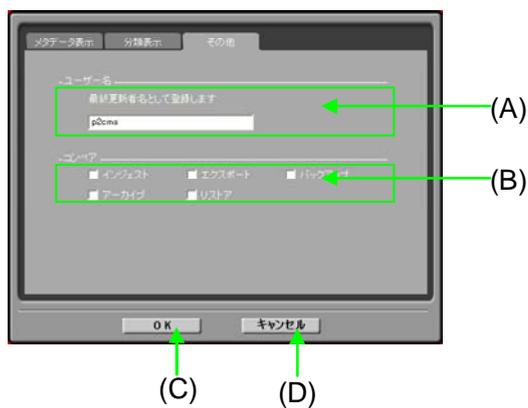


- (A) 表示しない項目のリスト
- (B) 表示する項目のリスト  
最低1件は必要です。
- (C) 表示追加ボタン  
(A)のリストで選択したアイテムを表示対象に追加します。
- (D) 表示削除ボタン  
(B)のリストで選択したアイテムを表示対象から外します。
- (E) 表示順変更ボタン (前)  
(B)のリストで選択したアイテムの表示順を前に移動します。
- (F) 表示順変更ボタン (後)  
(B)のリストで選択したアイテムの表示順を後に移動します。
- (G) OK ボタン  
設定を反映します。
- (H) キャンセルボタン  
設定をキャンセルします。

- 分類ツリーで表示する項目を編集する
  - (1) 表示したい項目は▶のボタンで右のリストへ移動させます
  - (2) 表示したくない項目は◀のボタンで左のリストへ移動させます
  - (3) 表示項目の順番を編集したい場合は、任意の項目を選択し、上下ボタン▲▼で順番を変更します
  - (4) OKを押下すると変更が反映されます

#### 4. その他の設定

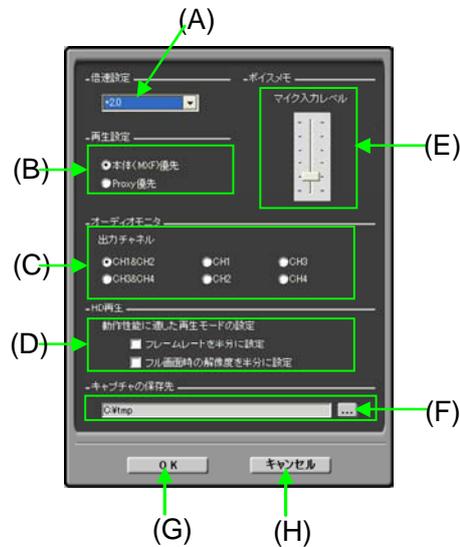
その他の設定を選択します



- (A) 最終更新者設定  
これから更新をする人の名前を入力します。ここで設定した名前が、最終更新者としてメタ情報に書き込まれます。
- (B) コンペア設定  
インジェスト/エクスポート/バックアップ/アーカイブ/リストアでコンペア（ファイル比較）をするかどうかを設定します。コンペアすることによりファイルの整合性が保たれますが、所要時間が約2倍になります。
- (C) OK ボタン  
設定を反映します。
- (D) キャンセルボタン  
設定をキャンセルします。

## 5. Viewer の設定

メインメニューの [P2Viewer] → [設定] を選択します  
Viewer の設定を選択します



- (A) 倍速設定  
倍速再生時の比率を設定します。倍率は 1.5 倍～4.0 倍まで 0.5 刻みです。
- (B) 再生設定  
MXF ファイルかプロキシファイルのどちらを優先して再生するか設定します。  
MPEG4 エンコーダがインストールされていない場合にはプロキシは再生できません。
- (C) オーディオ出力チャンネル  
オーディオ出力チャンネルを設定します。
- (D) HD 再生モード  
HD を再生する時の下記設定を行います。  
(1) フレームレートを半分に再生する  
(2) フル画面時、解像度を半分に再生する
- (E) マイク入力レベル  
ボイスメモで用いるマイク入力レベルの設定をします。
- (F) キャプチャの保存先  
再生時に静止画キャプチャ画像を保存するフォルダを設定します。
- (G) OK ボタン  
設定を反映させます。
- (H) キャンセルボタン  
設定を反映せずに画面を閉じます。

# 付録

こんなときには

## 光メディアドライブと接続するには

BDドライブ等の光メディアドライブのパソコンへの取り付けは各製品の取扱説明書を参照してください。

正常に使用できるようになると「マイコンピュータ」にCD-ROMのアイコンが追加されます。



ここで表示しているドライブレター (E:等) を指定してバックアップ等を行うことができます。

## バックアップ、アーカイブメディアを選ぶには

バックアップ、アーカイブメディアとして使用できるのはファイル単位で書き込みができる光メディアに限定されています。一般的にはDVD-RAMやBD-REが相当します。

メディアによっては一部OSやドライバとの関係で書き込み速度や読み込み速度が極端に遅くなるケースがあります。

環境毎の読み込み／書き込み速度をご確認の上で選択していただくことを推奨します。

## データベースに登録できません

データベースが他のアプリケーションから開かれている、HDDの容量不足等の原因が考えられます。

## ノートパソコンで使用したい

本アプリケーションは標準のパソコンで使用していただけるように設計されています。

しかし、インジェストやエクスポート等の機能では大量の映像データのコピーを行うため、環境によっては大量のデータ転送によりリムーバブルHDDがオペレーティングシステムから強制的に切り離されてしまうケースがあります。

ノートパソコンにリムーバブルHDDを接続してデータベース管理をされる場合には相性や安定性を確認の上、ご使用ください。

## 素材をUSBハードディスクでバックアップしたい

エクスポート機能で必要な素材を出力してください。

データベースが保存されているHDDの容量を減らす目的の場合にはMOVE指定でエクスポートしてもらえればHDDやデータベースから消去することができます。

## 素材を光メディアで他の人に渡したい

エクスポート機能で必要な素材を出力してください。

コピーオプションで実行してください。移動オプションで実行してしまうとHDDに保存されている映像データが消去されてしまいますので注意してください。

## 複数の素材に同じシナリオデータを登録したい

複数のコンテンツに一回の操作で同じシナリオデータ等の添付ファイルを登録することはできません。複数の素材に同じシナリオデータを登録する場合には素材ごとにシナリオデータの追加を行ってください。但し、素材数分の HDD 容量を消費することになります。

## ノンリニア編集ソフトウェアと同じ PC にインストールして使用したい

インジェストするにはノンリニア編集機で P2 ファイルを出力したフォルダを指定してインジェストしてください。  
ノンリニア編集機で使用する際にはリンクを作成するオプション設定をしたエクスポート機能を使用して出力することにより、HDD の容量を節約し、コピーの時間を短縮することが可能です。出力したファイルをノンリニア編集機で編集素材として使用することができます。

## インジェスト／エクスポート／バックアップ／アーカイブ／リストアの所要時間が長いと感じたら

その他の設定でコンペア設定がチェックされていませんか？  
チェックしていない場合にはご使用のハードウェア環境をご確認ください。  
パソコン本体の性能だけでなく、接続デバイスの性能や接続経路によって実行時間がかわります。

## バックアップ／アーカイブメディアのラベル名はどのように入力したら良いか？

ラベル名はメディア 1 枚に 1 つしか指定することができません。入力欄は前回入力した文字列が表示されますが、変更してしまうと前にバックアップした P2 素材のリストアをする際に混乱してしまうので、ご注意ください。

## ClipID で検索すると不完全素材が表示される

P2 機器で収録した場合に 1 つのコンテンツが複数のまたぎクリップで構成される場合があります。その場合には ClipID で検索をすると一部のクリップのみが検索にヒットして不完全素材として表示される場合があります。

## 結果レポートで表示される数が違う

2 つの映像をインGESTした場合にその中にまたぎ映像ファイルが存在する場合にはクリップ数で表示されるために結果で表示される映像数が 2 より大きな数値になります。  
またぎ映像とは一定のデータサイズを超えたコンテンツを自動で分割した映像で本アプリケーションからは 1 クリップとして表示されます。結果レポートなどではまたぎ映像を構成するクリップ数を表示します。

## インGEST時のファイルコピーに失敗する

パソコン環境や、リムーバブル HDD の状態などによりファイルコピーが失敗する場合があります。特にリムーバブル HDD をデータベースフォルダに指定している場合にはコピー中に自動的に切断されてしまう可能性があります。

頻繁に発生する場合には大きなファイルをエクスプローラでコピーを試してみてください。エラーが発生する場合には、HDD やパソコンを確認していただく必要があります。

失敗したファイルコピー処理ではデータを正常にコピーできていない可能性があります。P2 カード等を再利用するために P2 カードから素材を削除する場合には確実にインGESTしたデータの確認とバックアップ、バックアップしたデータの確認を実施してください。

## 連続再生中に Proxy ボタンを押しても通常再生される

再生画面に配置されている Proxy ボタンは現在再生中のクリップのみが対象となります。連続再生時に Proxy と本体映像のどちらを優先するかは Viewer の設定で再生設定をしてください。

## データベース異常で起動できなくなった

最後に使用していたデータベースが壊れた場合にはアプリケーションが起動できなくなる可能性があります。その場合には下記手順で復旧してください。

- 1) 最後のデータベースの削除  
エクスプローラでデータベースフォルダにある「P2CMS\_MANAGEMENT.mdb」を削除してください。
- 2) P2CMS を起動してデータベースを作成します。  
データベースが見つからないためデータベース作成を促すダイアログが表示されます。1で削除したデータベースを指定して作成して起動してください。
- 3) データベースの再構築を実行します。  
すでに登録済みのデータが検索できない状況になっていますので、HDDから復元させる必要があります。メインメニューの[データベース] → [再構築]で再構築を実行してください。すでに登録済みのデータが復元されます。  
もしアーカイブしている素材がある場合にはアーカイブしているメディア全てに対してメインメニューの[データベース] → [メディアから再構築]でメディアから再構築を実行してください。アーカイブしているデータがメディア毎に復元されます。

## インストールで失敗する

インストーラは Windows 標準のインストーラを使用しています。パソコンの状況によってはインターネット経由でインストールが必要となる可能性があります。インターネットに接続できる環境でインストールすることを推奨します。  
インストールするパソコンに接続されている機器の状態によってインストールやアプリケーションが正常に動作できない可能性があります。接続されている機器を最小限にした状態でインストールすることを推奨します。

## アイコンビューで選択した場合に処理される順番はどうなりますか？

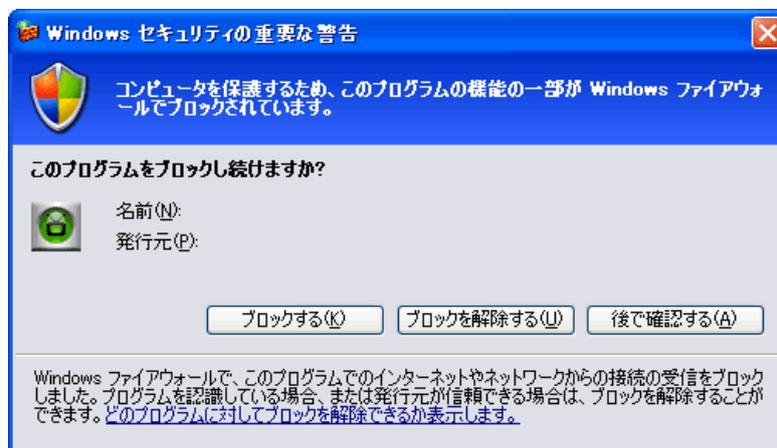
詳細表示やテキスト表示で選択した場合には表示した順番で処理します。アイコン表示で選択した場合も下図のような順番で処理します。



リストアの場合には挿入されたメディア毎に処理されますので処理する順番を意識する必要はありません。

## Windows セキュリティの重要な警告パネルが表示されたのですが？

Windows XP Service Pack 2 をインストールしたコンピュータにて [Windows セキュリティの重要な警告]画面が表示される場合があります。



この画面は Windows XP Service Pack 2 の「Windows ファイアウォール」機能が、画面に表示されているプログラムの機能をブロックした時に表示されます。

表示されているプログラムが信頼できる場合は[ブロックを解除する]ボタンをクリックしてください。

表示されているプログラムが信頼できない場合は[ブロックする]ボタンをクリックしてください。

表示されているプログラムが信頼できるかわからない場合は[後で確認する]をクリックしてください。

次回同じプログラムがインターネットやネットワークとの交信を行おうとした時に再度 [Windows セキュリティの緊急警告]画面が表示されます。

Windows XP Service Pack 2 ではプログラム毎にファイアウォール機能にてブロックするかどうかの設定を記録しています。

## エラーメッセージ

<b>データベースが見つかりません</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>データベースフォルダに異常がある可能性があります。 リムーバブル HDD を御使用の場合にはリムーバブル HDD の取扱説明書をご確認の上、正常に認識できていることを確認してください。 リムーバブル HDD に内蔵されている HDD の状態が悪くなるとオペレーティングシステムがエラーで強制的に切り離す現象が発生します。その場合には該当 HDD は使用しないでください。</li><li>データベースファイル「P2CMS_MANAGEMENT.mdb」が削除されているか、破損している可能性があります。 データベースファイルが存在することを確認してください。データベースファイルが存在している場合には「データベース再構築」機能で復旧させてください。</li></ul>
<b>データベースからのデータの取得に失敗しました。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>データベースファイル「P2CMS_MANAGEMENT.mdb」が破損している可能性があります。 データベースファイルが存在することを確認してください。データベースファイルが存在している場合には「データベース再構築」機能で復旧させてください。</li></ul>
<b>ドライブ名が割当てられている場所を選択して下さい</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>ドライブ名が割り当てられていない場所を指定している可能性があります。 ネットワーク上フォルダを右クリックして「ネットワークドライブの割り当て」で指定したいアドレスにドライブ名を割り当てて下さい。</li></ul>
<b>指定されたドライブには書き込みできません。空き容量が確保されているか確認してください。</b>
<b>出力先ドライブが異常です。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>保存先の空き容量が不足している可能性があります。 インジェスト、リストアの場合にはデータベースフォルダの HDD の容量を拡張してください。</li><li>リムーバブルメディアのメディアが正常に認識できていない可能性があります。 リムーバブルドライブが正常に認識できているか確認してください。</li><li>保存先ドライブにメディアが存在しない可能性があります。 エクスポート、バックアップ、アーカイブの時には保存先が見つからない場合に発生することがあります。保存先ドライブにメディアを挿入してください。</li></ul>
<b>ドライブにディスクが存在しないか、不正なメディアです</b>
<b>対象のメディアがセットされていません。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>ディスクが挿入されていない可能性があります。 使用するディスクを挿入してください。</li><li>対応されていないメディアが挿入されている可能性があります。 CD-R、DVD±R、BD-R には対応していません。対応しているメディアをご使用下さい。</li><li>メディアが壊れている可能性があります。 挿入されているディスクが壊れている可能性があります。使用するメディアを交換してください。</li></ul>
<b>コピーに失敗しました。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>インジェスト/エクスポート/バックアップ/アーカイブ/リストアでファイルのコピーに失敗しました。 再試行していただくか、操作した P2 素材をご確認ください。</li><li>対象のクリップが書き込み禁止メディア/フォルダにある可能性があります。 対象のクリップのメディア/フォルダの書き込み制限を変更してください。</li></ul>

<p><b>コンペアに失敗しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インジェスト/エクスポート/バックアップ/アーカイブ/リストアでファイルのコンペアに失敗しました。 操作した P2 素材が正常に処理できませんでしたので、再度実行してください。再実行しても正常完了できない場合にはコピーを行っているハードディスク等のデバイスが異常である可能性があります。該当デバイスの取扱説明書をご確認の上、正常に使用できる状態か確認してください。</li> </ul>
<p><b>クリップ ID が変更されたため、コンペアを実行しませんでした。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出力先に同じクリップ ID が存在したため、クリップ ID が変更されています。コンペア処理を行えません。コンペア処理を行いたい場合には同じクリップ ID が存在しないメディアに出力してください。</li> </ul>
<p><b>コピーは成功しましたが、移動元の削除に失敗しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動オプションで実行した場合に、ファイルのコピー後に元データの削除を行います。データベースフォルダに何らかの障害が発生していて削除に失敗した可能性があります。 データベースフォルダが格納されているハードディスクが故障しているか、フォルダやファイルのアクセス設定が読み取り専用になっていないか確認してください。</li> </ul>
<p><b>ユーザーによってキャンセルされました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーがキャンセルしました。 何も処置は必要ではありません。実行する場合には再実行してください。</li> </ul>
<p><b>ハードリンクの作成に失敗しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス権限がない可能性があります。 フォルダへのアクセス権限を変更してください。</li> <li>コピー先のドライブが準備できていないか、何らかの障害が発生している可能性があります。 リンク作成先のドライブが正常にアクセスできるか確認してください。</li> </ul>
<p><b>エクスポート先に同一名称のクリップが存在するため、失敗しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エクスポート先に同一名称のクリップ ID が存在する場合に、リンクの作成オプションで実行しています。 別のフォルダを指定していただくか、エクスポート先の同一名称のクリップ ID を削除してください。</li> </ul>
<p><b>コピーを中断しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス権限がない可能性があります。 コピー/出力先のフォルダへのアクセス権限を変更してください。</li> <li>コピー先のドライブが準備できていないか、何らかの障害が発生している可能性があります。 コピー先のドライブが正常にアクセスできるか確認してください。</li> </ul>
<p><b>クリップ情報および、関連するメモ情報の変更失敗しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベースファイルにアクセス権限がありません。 データベースファイルのアクセス権限を変更してください。</li> </ul>
<p><b>処理中に P2 データにアクセスできなくなりました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理対象の P2 素材が格納されているドライブ/フォルダにアクセスできなくなった可能性があります。 対象ドライブ/フォルダに正常にアクセスできる状態か確認してください。</li> <li>処理対象の P2 素材が削除・移動された可能性があります。 処理対象の P2 素材が存在するか確認してください。ネットワーク共有フォルダ等からインジェストした場合には発生する可能性があります。</li> </ul>
<p><b>同一クリップ名のインジェストは 100 個までしかできません。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベースに登録されている同一クリップ ID が 101 個を超えている可能性があります。 別のデータベースに登録してください。</li> </ul>

<p><b>処理中にエラーが発生しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P2 素材削除前に削除されてしまった可能性があります。</li> <li>・ P2 素材削除中に削除素材が格納されているドライブ、フォルダにアクセスできなくなった可能性があります。 対象ドライブ、フォルダにアクセスできることを確認してください。</li> <li>・ P2 素材格納しているフォルダのアクセス権限がない可能性があります。 対象フォルダのアクセス権限を変更してください。</li> </ul>
<p><b>次の種類のファイルが足りません&lt;x&gt; X:AUDIO, CLIP, ICON, PROXY, VIDEO, VOICE</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メタデータの内容とファイル構成が一致しません。 対象の P2 素材を確認してください。正しくない P2 フォーマットの可能性があります。</li> </ul>
<p><b>別の P2Viewer が既に起動しています。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無償版 P2Viewer が起動している可能性があります。 本アプリケーションの再生機能は P2Viewer 起動時には機能しません。P2Viewer を正常に終了させてからご使用ください。</li> </ul>
<p><b>データベース再構築の処理に失敗しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセス権限がない可能性があります。 フォルダへのアクセス権限を変更してください。</li> <li>・ データベースフォルダに何らかの障害が発生している可能性があります。 データベースフォルダのドライブが正常にアクセスできるか確認してください。</li> </ul>
<p><b>選択されたコンテンツはリストア対象外です</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アーカイブ状態でないクリップを選択して、リストアを実行しようとしています。 既にハードディスク内に存在しているのでリストアはできません。</li> </ul>
<p><b>選択されたクリップにオフライン状態のクリップが含まれています。オフラインクリップは実行できません。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アーカイブ状態のクリップに対して行えない処理を実行しようとしている可能性があります。 アーカイブ状態のクリップを選択しないで実行して下さい。</li> </ul>
<p><b>更新可能なクエリであることが必要です。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在使用しているデータベースフォルダに対する書き込み権限がない可能性があります。 フォルダへのアクセス権限を変更してください。</li> <li>・ 対象のクリップファイル、もしくはフォルダの書き込み権限がない可能性があります。 対象のクリップファイル、もしくはフォルダへの書き込み権限を変更してください。</li> </ul>

---

## ToolTip

ToolTipとはボタン等のコンポーネントにマウスを合わせると、そのコンポーネントに関する情報を示すテキストがポップアップで表示されます。



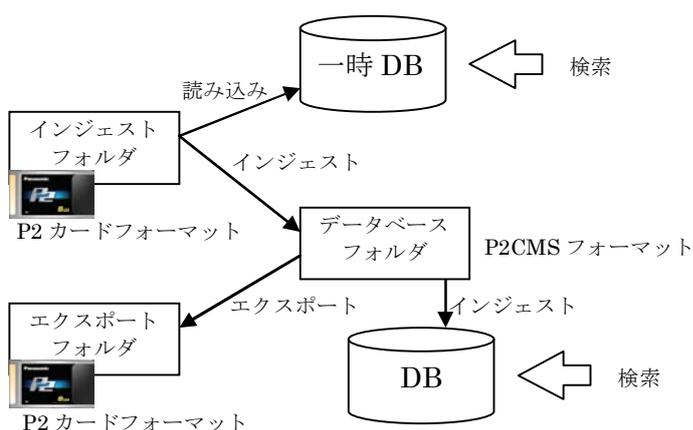
### データの操作

本アプリケーションでは次のような仕組みで検索等を実行しています。

インジェストモードで読み込んだデータは一時的なデータベースを作成してそのデータベースに対して検索等を実行します。

インジェストでは現在のデータベースフォルダに実データのコピーを実行してコピーされたメタデータからデータベースへの登録を実行します。

データベースモードでは現在選択しているデータベースに対して検索などを実行します。



このように検索では P2 素材の XML ファイル（メタデータ用ファイル）を直接検索するのではなく、ファイル形式のデータベースを作成してそのデータベースに対して検索を行っています。

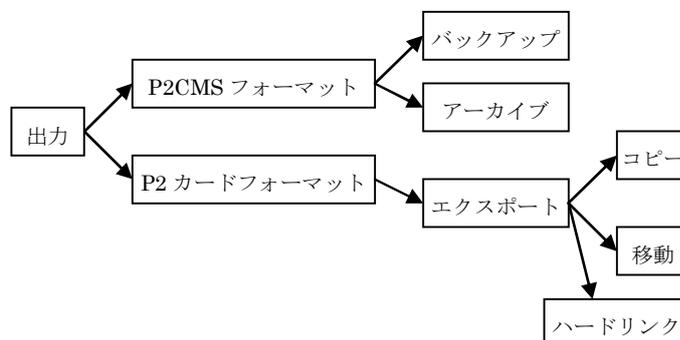
プロパティ画面等でのメタデータ変更はデータベース（DB）とデータベースフォルダに格納されている XML ファイルを変更しています。

P2 ビューアで IN/OUT 点登録を実行した場合には直接 XML ファイルを変更しています。データベースへの反映は該当 P2 素材が P2 ビューアからアンロードされたタイミングで実行されます。

このように本アプリケーションでは P2 素材に関してはメタデータのみの操作を行うためインジェストした映像データを操作することはありません。インジェスト時に映像データ自体が正常かどうかのチェックを厳密に行っているわけではありませんので、インジェスト前もしくは後に正常な映像であることを確認してください。

## P2 素材の出力

P2 素材（コンテンツ）を出力する方法は次のようになります。



光メディアには **P2CMS** フォーマットで出力できます。

コピーする場合にはバックアップ、移動させる場合にはアーカイブを選択します。但し、アーカイブされているデータはデータベース上で削除することはできません。

また本アプリケーションでは光メディアのフォーマット機能は装備しておりませんので、光メディアをフォーマットしてからご使用ください。

（未フォーマットのメディアを挿入すると処理に失敗します）

光メディアは **P2CMS** フォーマット、**P2 カードフォーマット**両方の出力ができます。エクスポート機能を使用して実行時にコピー／移動を選択することができます。

※ハードリンクで出力した P 2 素材をアーカイブしてもハードディスクの容量は減りません。これはハードリンクを行った素材を全て消去するまでは実データを消去しないためです。

## 光メディアの識別・管理

本アプリケーションで光メディアを下記3つのデータで管理します。

1. 識別キー  
光メディアにバックアップ、アーカイブする場合にメディアを本アプリケーションが特定する為の識別キーを示します。機器固有値と時間情報から構成されます。検索では使用できません。
2. ボリューム名  
光メディアのボリュームラベルを示します。バックアップ、アーカイブでメディアを特定する一つ的手段として記録することができます。但し、変更すると管理ができなくなり支障があります。ボリューム名には30文字（全角・半角関係なし）まで入力することができます。
3. ラベル名  
光メディアのメディア名称を示します。バックアップ、アーカイブでメディアを特定する一つ的手段として記録することができます。但し、変更すると管理ができなくなります。ラベル名はメディアのフォーマット時に付与するデータですので本アプリケーションで操作することはありませんが、半角英数字で11文字（全角文字の場合は5文字）までメディア毎に入力することができます。

識別キーはアプリケーションが識別する為に使用する目的のデータのためユーザーが意識するデータではありません。

ボリューム名は光メディアをフォーマットするとボリュームラベルとして入力できる値です。ユーザーで変更することも可能です。

ラベル名は本アプリケーション特有の機能で光メディアにデータとして書き込むデータです。ユーザーで変更することも可能です。

ボリューム名はフォーマット済みメディアには既に入力されている可能性が高い為、ラベル名をメディアもしくはケースラベルに記述することで管理していただくことを推奨します。

## クリップ

P2素材（コンテンツ）は単位をクリップと表現されます。

コンテンツの記録時間が下表に示す時間を超えた場合、もしくはP2機器にてP2カードの空き容量が不足した等の場合に複数のクリップに分割されることがあります。このように複数のクリップで構成されるコンテンツをまたぎコンテンツと呼びます。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD	約 5 分
DVCPRO50	約 10 分
DVCPRO/DV	約 20 分

\*1 DVCPRO HD は 720P/30PN,720P/24PN を除きます。

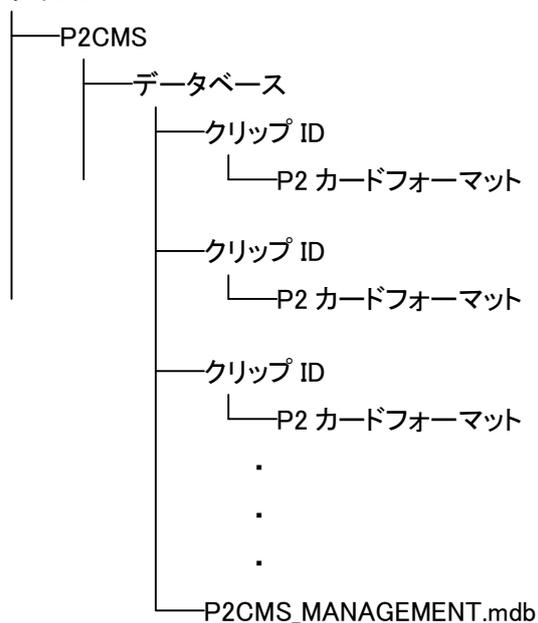
本ソフトウェアでは連続記録されたクリップは一つのクリップとして操作できるように対応しておりますが、結果表示画面に表示される件数や分類項目名変更時に表示される変更確認メッセージに表示される件数は構成されるクリップの総数になります。

## 保存形式

本ソフトウェアではパソコンに装着されているハードディスクに P2 素材（コンテンツ）を保存します。

それぞれのハードディスクに P2CMS フォルダを作成して、その中にデータベース名毎の保存フォルダを作成します。この保存フォルダには本ソフトウェアが検索用に使用するデータベースとコンテンツが格納されます。

ドライブ:



※ コンテンツ保存フォルダはインジェスト時に指定したサブフォルダ指定により変わります。

## P2 カードフォーマット

P2 カードの記録されている構成を当文書では P2 カードフォーマットと記述します。

本フォーマットの記録データは、コンピュータでアクセスできるファイル形式のため、PC との親和性に優れています。

そのファイル構造はMX Fファイル化される映像、音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれています。

エクスプローラ等でマニュアルコピーすると P2 機器にて正常に読み書きできなくなる可能性がありますのでご注意ください。

本ソフトウェアではエクスポート機能により本フォーマットで出力できます。

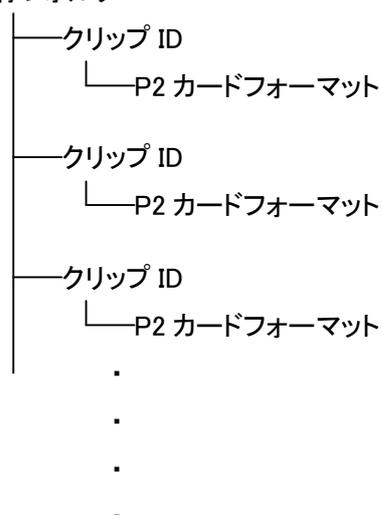
## P2CMS フォーマット

P2 フォーマットは複数のクリップが同一のフォルダに格納される為、クリップ ID が重複した場合でも管理できるように P2CMS フォーマットを定義しています。

P2CMS フォーマットは P2 フォーマットをクリップ毎のフォルダに分離しており、下図のようなフォルダ構成にて関連付けられています。

クリップ ID が重複した場合にはクリップ ID+連番（0～99）をフォルダ名にすることにより最大101クリップまで同一クリップ ID に対応できるフォーマットになっています。

### 保存フォルダ



※ 本フォーマットで保存されたものはそのままでは P2 機器で使用することはできませんのでご注意ください。

## 赤×クリップ

P2コンテンツで赤×インジケータが表示される場合、コンテンツに問題があります。内容によっては操作できません。P2CMSで判定した正常クリップが全て他の機器で使用できることを保証するものではありません。

内容	操作
ファイル構成異常	×
Duration 異常 (XML)	○
EditUnit 異常 (XML)	○
ValidAudioFlag 異常 (XML)	○
VideoFormat 異常 (XML)	○
Codec 異常 (XML)	○
FrameRate 異常 (XML)	△
DropFrameFlag 異常 (XML)	○
VFRRatio 異常 (XML)	○
VFRState 異常 (XML)	○
StartTimecode 異常 (XML)	○
StartBinaryGroup 異常 (XML)	○
Pulldown 異常 (XML)	○
AspectRatio 異常 (XML)	○
UnusedOffset 異常 (XML)	○
StartByteOffset 異常 (XML)	○
Datasize 異常 (XML)	○
AudioFormat 異常 (XML)	○
SamplingRate 異常 (XML)	○
BitsPerSample 異常 (XML)	○

× . . . 操作できません。

△ . . . データが読めない場合には操作できません。

# グロサリ用語

## **MXF**

素材交換フォーマット

## **NTFS**

WindowsNT/2000/XP で使われるファイルシステム

## **P2CMS** フォーマット

本アプリケーションの保存フォルダ形式

## **P2** カードフォーマット

P2 カードの保存フォルダ形式

## クリップ

映像素材単位

## **P2** 素材

P2 フォーマットで記録された素材

## **Proxy**

関連付けられている P2 素材を低レートで記録している映像データ

## **USB**

パソコン周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格

## **XML**

P2 メタデータ記録ファイルフォーマット

## インジェスト

映像データを登録・コピーする作業

## エクスポート

P2 カードフォーマットで映像データを出力する作業

## オフライン

アーカイブされた素材で内蔵 HDD に素材がないこと

## ハードリンク

ファイルやディレクトリを別のパスの名前に結びつける作業。

## バックアップ

P2CMS フォーマットで光メディアにコピーする作業

## アーカイブ

P2CMS フォーマットで光メディアへ移動し、ハードディスク上から削除する作業

## リストア

アーカイブした映像データを戻す作業

## ロギング

映像データにマーキングする作業

## 光メディア

DVD-RAM, BD-RE ディスク等のリライトメディア

## ノード

コンピュータ・サイエンスにおけるツリーは、階層をもったノード (node) の集まり。階層は親子関係で表現されます。ツリーでは上位ノードを親ノードと呼び、下位ノードを子ノードと呼びます。

## グロサリ

用語集

## シナリオ

筋書き (脚本／台本)

---

**パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ**

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161